

注3

大学番号：037

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

意見伺い

富山大学 都市デザイン学部

注2

【意見伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 富山大学
令和2年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	総務部	企画評価課	
職名・氏名	主任	タケダ 武田	マサヒ 真妃
電話番号	076-445-6241		
（夜間）	076-445-6241		
F A X	076-445-6244		
e-mail	sokikaku@adm.u-toyama.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
 設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
 例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
 (旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
 表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
 例)
 ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
 ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
 ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
 ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
 ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
 ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
 ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
 ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

都市デザイン学部

＜地球システム科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	26
5. 教員組織の状況	31
6. 附帯事項等に対する履行状況等	67
7. その他全般的事項	68

＜都市・交通デザイン学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	72
2. 授業科目の概要	76
3. 施設・設備の整備状況、経費	95
4. 既設大学等の状況	97
5. 教員組織の状況	102
6. 附帯事項等に対する履行状況等	139
7. その他全般的事項	140

＜材料デザイン工学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	144
2. 授業科目の概要	148
3. 施設・設備の整備状況、経費	167
4. 既設大学等の状況	169
5. 教員組織の状況	174
6. 附帯事項等に対する履行状況等	211
7. その他全般的事項	212

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名 富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日 (元)
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (地球システム科学科)	(オオトウ シゲル) 大藤 茂 (平成30年4月)	(スギウラ コウノスケ) 杉浦 幸之助 (令和2年4月) (ヤスナガ カズアキ) 安永 数明 (平成31年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日(2) 任期満了のため 平成31年4月1日(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 地球システム科学科 学士(理学)	理学関係	4年	40人	— 年次人	160人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	40人	—人	40人	—人	40人	—人	—人	—人	()	()	1.02倍	—	
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]			
志願者数	252	—	193	—	265	—	—	—	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[1]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]			
受験者数	163	—	116	—	169	—	—	—	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[0]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]			
合格者数	43	—	46	—	44	—	—	—	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[0]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]			
B 入学者数	41	—	42	—	40	—	—	—	()	()			
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()			
	[]	[]	[0]	[]	[1]	[]	[]	[]	[]	[]			
入学定員超過率 B/A	1.02		1.05		1.00								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	41 [—] (—)	— [—] (—)	42 [—] (—)	— [—] (—)	40 [1] (—)	— [—] (—)	[]	[]	
2年次	/		41 [—] (—)	— [—] (—)	42 [—] (—)	— [—] (—)	[]	[]	
3年次			/		/		40 [—] (—)	— [—] (—)	[]
4年次	/						/		/
計			41 [—] (—)	83 [—] (—)	122 [1] (—)	[]			

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	41人	0人	平成30年度	0人	0人	
令和元年度	83人	1人	平成30年度	1人	0人	・就学意欲の低下(1人)
			令和元年度	0人	0人	
令和2年度	122人	0人	平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		1人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{83} = \boxed{1.2} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								1
	人間と倫理	1前・後		2								1
	こころの科学	1前・後		2								1
	現代と教育	1前・後		2								1
	日本の歴史と社会	1前・後		2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								1
	日本文学	1前・後		2								1
	外国文学	1前・後		2								1
	言語と文化	1前・後		2								1
	音楽	1前・後		2								1
	美術	1前・後		2								1
	言語表現	1前・後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション	1前・後		2								1
異文化理解	1前・後		2								1	
小計(15科目)		-	0	30	0	0	0	0	0	0	0	14
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	経済生活と法	1前・後		2								1
	市民生活と法	1前・後		2								1
	はじめての経済学	1前・後		2								1
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								1
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								1
	市場と企業の関係	1前・後		2								1
小計(8科目)		-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	7

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								2
	人間と倫理	1前・後		2								2
	こころの科学	1前・後		2								4
	現代と教育	1前・後		2								8
	日本の歴史と社会	1前・後		2								3
	東洋の歴史と社会	1前		2								1
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								5
	日本文学	1前・後		2								6
	外国文学	1前・後		2								3
	言語と文化	1前・後		2								4
	音楽	1前・後		2								2
	美術	1前・後		2								14
	言語表現	1後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
異文化間コミュニケーション	1後		2								1	
異文化理解	1前		2								1	
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	57
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								4
	日本国憲法	1前・後		2								3
	国家と市民	1前・後		2								4
	経済生活と法	1前・後		2								5
	市民生活と法	1前・後		2								4
	はじめての経済学	1前・後		2								5
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								4
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								3
市場と企業の関係	1前・後		2								2	
地域の経済と社会・文化	1前・後		2								2	
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	33

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2		5	1					
	生命の世界	1前・後		2								2
	物理の世界	1前・後		2								2
	化学物質の世界	1前・後		2								2
	自然と情報の数理	1前・後		2								1
	社会と情報の数理	1前・後		2								1
	技術の世界	1前・後		2								2
	材料の科学	1前・後		2								3
	生活の科学	1前・後		2								1
	コンピュータの話	1前・後		2								2
デザインと生物	1前・後		2								1	
小計(11科目)	-	0	22	0	5	1	0	0	0		17	
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後		2								1
	概説医療心理学	1前・後		1								1
	認知科学	1前・後		2								1
	脳科学入門	1前・後		2								1
	生命科学入門	1前・後		1								2
	免疫学入門	1前・後		2								1
	身近な医学	1前・後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前・後		2								1
	医療と地域社会	1前・後		2								2
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0		6	
総合科目系	環境	1前・後		2								1
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								2
	現代文化	1前・後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前・後		2								1
	科学と社会	1前・後		2		1						
	アカデミック・デザイン	1前・後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2			1					2
	生命の世界	1前・後		2								4
	物理の世界	1前・後		2								2
	化学物質の世界	1前・後		2								3
	自然と情報の数理	1前・後		2								6
	社会と情報の数理	1前		2								1
	技術の世界	1前・後		2								3
	材料の科学	1後		2								3
	生活の科学	1前		2								2
	コンピュータの話	1前・後		2								2
デザインと生物	1後		2								2	
小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0		30	
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2								1
	概説医療心理学	1前		1								1
	認知科学	1後		2								1
	脳科学入門	1後		2								2
	生命科学入門	1前		1								2
	免疫学入門	1前		2								1
	身近な医学	1後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前		2								1
	医療と地域社会	1後		2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0		7	
総合科目系	環境	1前		2								2
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								10
	現代文化	1後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前		2								2
	科学と社会	1前・後		2		1						9
	アカデミック・デザイン	1後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	ビジネス思考	1前・後	2							1
		平和学入門	1前・後	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1前・後	2							1
		環境と安全管理	1前・後	2							1
		万葉学	1前・後	2							1
		日本海学	1前・後	2			1				
		富山大学学	1前・後	2							1
		とやま地域学	1前・後	2							1
		時事的問題	1前・後	2							1
		災害救援ボランティア論	1前・後	2							1
		感性をはぐくむ	1前・後	2							1
		日本事情／芸術文化	1前・後	2							1
		日本事情／自然社会	1前・後	2							1
		学士力・人間力基礎	1前・後	2							1
		富山学	1前・後	2							3
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
		産業観光学	1前・後	2							3
		富山のものづくり概論	1前・後	2							4
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
小計(28科目)	-	0	56	0	2	0	0	0	0	23	
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							7
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							7
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							7
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							7
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	ビジネス思考	1後	2							1
		平和学入門	1前	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後	2							1
		新聞投稿に挑戦	1後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1前	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1後	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前	2							3
		産業観光学	1後	2							2
富山のものづくり概論	1前・後	2							4		
富山の地域づくり	1前	2							4		
小計(29科目)	-	0	58	0	1	0	0	0	0	47	
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							11
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							15
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							14
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							6
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							2
		フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							3

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							1
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							1
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							1
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1		
日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1		
日本語リテラシーⅢ	2前		1						1		
日本語／専門研究	2後		1						1		
日本語／ビジネス	2後		1						1		
小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	19	
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後	1							1	
		1前	1							1	
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1							5
		フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後	1							5
		中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							10
		中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							10
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							5
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							1
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							1
		日本語リテラシーⅡ	2後	1							1
		日本語コミュニケーションⅠ	2前	1							1
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1		
日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1		
日本語リテラシーⅢ	2後		1						1		
日本語／専門研究	1前		1						1		
日本語／ビジネス	1後		1						1		
小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	71	
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後	1							8	
		1前・後	1							16	
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	17

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	情報処理系	情報処理—A	1前	2							4
		応用情報処理	1後		2						1
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0
学部共通科目	データサイエンスⅠ/確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンスⅡ/多変量解析	2①		2			1				
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2							1
	都市デザイン学総論	1③④	2				1				11
	インフラ材料	2①	2								2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	物質科学	2②	2			2					4
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3①		2							1
	全学横断PBL	3②		1			1		1		8
	インターンシップA	3②③		1		1					
	インターンシップB	3②③		2		1					
	地域デザインPBL	3③	1				3				7
	都市ブランドデザイン	3③		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2				1				3
小計(16科目)	-	15	14	0	5	4	0	1	0	21	
(専門科学全般を理解するための基礎)	微分積分	1①②	2			1					
	線形代数	1①②	2			1					
	力学	1③④	2			1					
	応用数学	1③④		2		1					
	物理学序論	2①②		2		3	1				
	基礎物理学実験	2②		1		2	1				
	化学概論Ⅰ	1①②		2							2
	化学概論Ⅱ	1③④		2							1
基礎化学実験	2③		1							8	
生物学概論Ⅰ	1①②		2							2	
生物学概論Ⅱ	1③④		2							2	
基礎生物学実験	2①		1							7	
小計(6科目)	-	6	5	0	5	1	0	0	0	0	
専門的知識	地球科学について幅広い専門的知識	地球科学概論	1①②	2			3				
		地球科学実験	1③④	2			2				
		一般地質学	1③④	2			1				
		岩石・鉱物学	2①	2			2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	情報処理系	情報処理—A	1前・後	2							13
		応用情報処理	1後		2						5
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0
学部共通科目	データサイエンスⅠ/確率統計	1③④	2				1				
	データサイエンスⅡ/多変量解析	2①		2			1				
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2							1
	都市デザイン学総論	1③④	2				1				11
	インフラ材料	2①	2								2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	物質科学	2②	2			2					4
	自然災害学	2③	2			1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3④		2							1
	全学横断PBL	3②		1			1		1		8
	インターンシップA	3②③		1		1					
	インターンシップB	3②③		2		1					
	地域デザインPBL	3③	1				3				7
	都市ブランドデザイン	3②		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3③	2				1				3
小計(16科目)	-	15	14	0	5	4	0	1	0	21	
(専門科学全般を理解するための基礎)	微分積分	1①②	2			1					
	線形代数	1①②	2			1					
	力学	1③④	2			1					
	応用数学	1③④		2		1					
	物理学序論	2①②		2		3	1				
	基礎物理学実験	2②		1		2	1				
	化学概論Ⅰ	1①②		2							2
	化学概論Ⅱ	1③④		2							1
	基礎化学実験	2③		1							8
	生物学概論Ⅰ	1①②		2							2
	生物学概論Ⅱ	1③④		2							2
	基礎生物学実験	2①		1							7
小計(12科目)	-	6	15	0	5	1	0	0	0	20	
専門的知識	地球科学について幅広い専門的知識	地球科学概論	1①②	2			3				
		地球科学実験	1③④	2			2				
		一般地質学	1③④	2			1				
		岩石・鉱物学	2①	2			2				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
専攻科目	地球・鉱物学実験	3①2③		3		2														
	地球殻物理学	2①	2			1														
	地球計算機実習	2①②		2		1	1													
	気象学	2②	2			1														
	地球電磁気学	2③	2			1														
	海洋物理学	2③	2			1														
	堆積学	2③		2		1														
	地質学実験	2③④		2		1	1													
	地球物理学実験 I	2③④		2		4	1													
	地球物理学実験 II	3①2③		3		5	1		1											
	雪氷学	2④	2			1														
	地球内部物理学	2④	2			1														
	火山学	2④	2			1														
	地球流体力学	3①	2			1														
	気水圏情報処理論	3②	2				1													
	リモートセンシング学	3③	2			1														
地史学	3③	2			2															
小計(21科目)	-	20	24	0	11	4	0	1	0	0										
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2				1													
	災害地質学	2④	2				1													
	環境磁気学	3①	2				1													
	資源環境科学	3③	2			1														
	小計(4科目)	-	2	6	0	5	2	0	0	0	0									
「地域」の自然	野外実習 I	2①②		2		4	2													
	野外実習 II	3①②		2		4														
	地質調査法実習	3②③		3		4	2													
	小計(3科目)	-	0	7	0	4	2	0	0	0	0									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任									
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手										
専攻科目	地球・鉱物学実験	3②③		3		2														
	地球殻物理学	2①	2			1														
	地球計算機実習	2①②		2		1	1													
	気象学	2②	2			1														
	地球電磁気学	2③	2			1														
	海洋物理学	2③	2			1														
	堆積学	2③		2		1														
	地質学実験	2③④		2		1	1													
	地球物理学実験 I	2③④		2		4	1													
	地球物理学実験 II	3②③④		3		5	1		1											
	雪氷学	2④	2			1														
	地球内部物理学	2④	2			1														
	火山学	2④	2			1														
	地球流体力学	3①	2			1														
	気水圏情報処理論	3②	2				1													
	リモートセンシング学	3③	2			1														
地史学	3②	2			2															
小計(21科目)	-	20	24	0	11	4	0	1	0	0										
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2				1													
	災害地質学	3②	2				1													
	環境磁気学	3①	2				1													
	資源環境科学	3③	2			1														
	小計(4科目)	-	2	6	0	5	2	0	0	0	0									
「地域」の自然	野外実習 I	2②		2		4	2													
	野外実習 II	3①②		2		4														
	地質調査法実習	3②③		3		4	2													
	小計(3科目)	-	0	7	0	4	2	0	0	0	0									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	問題発見・解決力 基礎地球セミナー	1①②	2			11	4		1			
	科学英語	2③④	2			1						
	洋書講読	3①	2			10	4		1			
	専攻セミナー	3④	2			11	4		1			
	卒業論文	4通	12			11	4		1			
	小計(5科目)	-	20	0	0	11	4	0	1	0	0	
合計(166科目)			-	69	224	8	11	4	0	1	0	91
卒業要件及び履修方法												
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 24単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 9単位以上を履修] (2)専門基礎科目 8単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 2単位以上を履修] (3)専攻科目 59単位以上 [必修科目 42単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	問題発見・解決力 基礎地球セミナー	1①②	2			11	4		1			
	科学英語	2③④	2			3						
	洋書講読	3①③	2			11	4		1			
	専攻セミナー	3④	2			11	4		1			
	卒業論文	4通	12			11	4		1			
	小計(5科目)	-	20	0	0	11	4	0	1	0	0	
合計(176科目)			-	69	242	8	11	4	0	1	0	303
卒業要件及び履修方法												
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 24単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 9単位以上を履修] (2)専門基礎科目 8単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 2単位以上を履修] (3)専攻科目 59単位以上 [必修科目 42単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>												

【平成30年度】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									4
	現代と教育	1前・後	2									7
	日本の歴史と社会	1前・後	2									4
	東洋の歴史と社会	1前	2									1
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									4
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									2
	言語と文化	1前・後	2									5
	音楽	1前・後	2									4
	美術	1前・後	2									8
	言語表現	1後	2									2
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション(未開講)	1前・後	2									1
	異文化理解	1前	2									1
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	53
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									6
	日本国憲法	1前・後	2									5
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									3
	市民生活と法	1前・後	2									8
	はじめての経済学	1前・後	2									4
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									4
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									4
	市場と企業の関係	1前・後	2									3
	地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									2
	現代と教育	1前・後	2									7
	日本の歴史と社会	1前・後	2									4
	東洋の歴史と社会	1前・後	2									2
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									4
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									3
	言語と文化	1前・後	2									4
	音楽	1前・後	2									2
	美術	1前・後	2									14
	言語表現	1後	2									1
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション	1前	2									1
	異文化理解	1前	2									1
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	56
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									6
	日本国憲法	1前・後	2									4
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									5
	市民生活と法	1前・後	2									6
	はじめての経済学	1前・後	2									5
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									5
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									3
	市場と企業の関係	1前・後	2									2
	地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2		4						1
	生命の世界	1前・後		2								3
	物理の世界	1前・後		2								3
	化学物質の世界	1前・後		2								4
	自然と情報の数理	1前・後		2								4
	社会と情報の数理(未開講)	1前・後		2								1
	技術の世界	1前・後		2								4
	材料の科学	1後		2								3
	生活の科学	1前		2								1
	コンピュータの話	1前		2								2
デザインと生物	1後		2								3	
小計(11科目)	-	0	22	0	4	0	0	0	0	0	28	
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2								2
	概説医療心理学	1前		1								1
	認知科学	1後		2								1
	脳科学入門	1後		2								2
	生命科学入門	1前		1								2
	免疫学入門	1前		2								2
	身近な医学	1後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前		2								5
	医療と地域社会	1後		2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	13	
総合科目系	環境	1前・後		2								3
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								4
	現代文化	1後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前		2								2
	科学と社会	1前・後		2								7
	アカデミック・デザイン	1後		2								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2		1						2
	生命の世界	1前・後		2								4
	物理の世界	1前・後		2								3
	化学物質の世界	1前・後		2								3
	自然と情報の数理	1前・後		2								6
	社会と情報の数理	1前		2								1
	技術の世界	1前		2								1
	材料の科学	1後		2								3
	生活の科学	1前・後		2								4
	コンピュータの話	1前		2								2
デザインと生物	1後		2								3	
小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	0	32	
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2								1
	概説医療心理学	1前		1								1
	認知科学	1後		2								1
	脳科学入門	1後		2								2
	生命科学入門	1前		1								2
	免疫学入門	1前		2								2
	身近な医学	1後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前		2								1
	医療と地域社会	1後		2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	8	
総合科目系	環境	1前		2								2
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								6
	現代文化	1後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前		2								1
	科学と社会	1前・後		2								3
	アカデミック・デザイン	1後		2								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	ビジネス思考	1後	2							2
	平和学入門	1前	2							1	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2							1	
	新聞投稿に挑戦	1後	2							1	
	富山から考える震災・復興学	1後	2							1	
	環境と安全管理	1後	2							2	
	万葉学	1前	2							1	
	日本海学	1後	2							1	
	富山大学学	1前	2							1	
	とやま地域学	1前	2							1	
	時事的問題	1前	2							1	
	災害救援ボランティア論	1後	2							1	
	感性をはぐくむ	1前	2							1	
	日本事情／芸術文化	1後	2							1	
	日本事情／自然社会	1前	2							1	
	学士力・人間力基礎	1前	2							1	
	富山学	1前	2							1	
	地域ライフプラン	1前・後	2							3	
	産業観光学	1後	2							1	
	富山のものづくり概論	1前	2							1	
富山の地域づくり	1前	2							4		
小計(29科目)	-	0	58	0	0	0	0	0	0	43	
外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							12	
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1							10	
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11	
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							11	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							10	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							7	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							9	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							7	
	フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1	
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							5	
	小計(12科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	63

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	ビジネス思考	1後	2							1
	平和学入門	1前	2							1	
	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後	2							1	
	新聞投稿に挑戦	1後	2							1	
	富山から考える震災・復興学	1後	2							1	
	環境と安全管理	1前	2							1	
	万葉学	1前	2							1	
	日本海学	1後	2							1	
	富山大学学	1後	2							1	
	とやま地域学	1前	2							1	
	時事的問題	1前	2							1	
	災害救援ボランティア論	1後	2							1	
	感性をはぐくむ	1前	2							1	
	日本事情／芸術文化	1後	2							1	
	日本事情／自然社会	1前	2							1	
	学士力・人間力基礎	1前	2							1	
	富山学	1前	2							1	
	地域ライフプラン	1前・後	2							2	
	産業観光学	1前	2							2	
	富山のものづくり概論	1前・後	2							3	
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
小計(29科目)	-	0	58	0	0	0	0	0	0	37	
外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							11	
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1							13	
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							14	
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							13	
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							6	
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							6	
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							6	
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							5	
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							2	
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							2	
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1							5	
	小計(12科目)	-	0	12	0	0	0	0	0	0	63

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
育 科 目	フランス語コミュニケーションⅡ	1後		1								5
	中国語基礎Ⅰ	1前		1								10
	中国語基礎Ⅱ	1後		1								10
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								7
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								7
	朝鮮語基礎Ⅰ	1前		1								2
	朝鮮語基礎Ⅱ	1後		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	ロシア語基礎Ⅰ	1前		1								2
	ロシア語基礎Ⅱ	1後		1								2
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	日本語リテラシーⅠ	1前		1								2
	日本語リテラシーⅡ	1後		1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	日本語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1							1
	発展多言語演習中国語	2前			1							1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前			1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後			1							1	
日本語コミュニケーションⅢ	2前			1							1	
日本語リテラシーⅢ	2前			1							1	
日本語／専門研究	2後			1							1	
日本語／ビジネス	2後			1							1	
小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	0	0	74
保 健 ・ 体 育 系	健康・スポーツ／講義	1後		1								8
	健康・スポーツ／実技	1前・後		1								16
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	18

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
育 科 目	フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後		1								5
	中国語基礎Ⅰ	1前・後		1								10
	中国語基礎Ⅱ	1前・後		1								10
	中国語コミュニケーションⅠ	1前		1								7
	中国語コミュニケーションⅡ	1後		1								7
	朝鮮語基礎Ⅰ	1前		1								2
	朝鮮語基礎Ⅱ	1後		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前		1								2
	朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	ロシア語基礎Ⅰ	1前		1								2
	ロシア語基礎Ⅱ	1後		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅠ	1前		1								1
	ロシア語コミュニケーションⅡ	1後		1								1
	日本語リテラシーⅠ	1前		1								2
	日本語リテラシーⅡ	1後		1								2
	日本語コミュニケーションⅠ	1前		1								3
	日本語コミュニケーションⅡ	1後		1								2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1							1
	発展多言語演習中国語	2前			1							1
	発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前			1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後			1							1	
日本語コミュニケーションⅢ	2後			1							1	
日本語リテラシーⅢ	2前			1							1	
日本語／専門研究	2前・後			1							3	
日本語／ビジネス	2後			1							1	
小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	0	0	78
保 健 ・ 体 育 系	健康・スポーツ／講義	1後		1								8
	健康・スポーツ／実技	1前・後		1								16
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	17

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	情報処理系	情報処理—A	1前	2								13
		応用情報処理	1後		2							4
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0	17
学部共通科目	データサイエンスⅠ/確率統計	1③④	2			1						
	データサイエンスⅡ/多変量解析	2①		2			1					
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2								1
	都市デザイン学総論	1③④	2				1					11
	インフラ材料	2①	2									2
	デザイン思考基礎	2②	2									1
	物質科学	2②	2			2						4
	自然災害学	2③	2			1						1
	デザインプレゼンテーション	2④		2								1
	モビリティデザイン	3①		2								1
	全学横断PBL	3②		1			1		1			8
	インターンシップA	3②③		1		1						
	インターンシップB	3②③		2		1						
	地域デザインPBL	3③	1				3					7
	都市ブランドデザイン	3③		2								1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④		2			1					3
小計(16科目)	-	15	14	0	5	4	0	1	0		21	
(専門科学全般を理解するための基礎)	微分積分	1①②	2			1						
	線形代数	1①②	2			1						
	力学	1③④	2			1						
	応用数学	1③④		2		1						
	物理学序論	2①②		2		3	1					
	基礎物理学実験	2②		1		2	1					
	小計(6科目)	-	6	5	0	5	1	0	0	0		0
	専門的知識	地球科学概論	1①②	2			3					
地球科学実験		1③④	2			2						
一般地質学		1③④	2			1						
岩石・鉱物学		2①	2			2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	情報処理系	情報処理—A	1前・後	2								12
		応用情報処理	1後		2							5
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0	13
学部共通科目	データサイエンスⅠ/確率統計	1③④	2				1					
	データサイエンスⅡ/多変量解析	2①		2				1				
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2								1
	都市デザイン学総論	1③④	2						1			11
	インフラ材料	2①	2									2
	デザイン思考基礎	2②	2									1
	物質科学	2②	2				2					4
	自然災害学	2③	2				1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2								1
	モビリティデザイン	3①		2								1
	全学横断PBL	3②		1			1		1			8
	インターンシップA	3②③		1		1						
	インターンシップB	3②③		2		1						
	地域デザインPBL	3③	1						3			7
	都市ブランドデザイン	3③		2								1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3③		2					1			3
小計(16科目)	-	15	14	0	5	4	0	1	0		21	
(専門科学全般を理解するための基礎)	微分積分	1①②	2				1					
	線形代数	1①②	2				1					
	力学	1③④	2				1					
	応用数学	1③④		2			1					
	物理学序論	2①②		2		3	1					
	基礎物理学実験	2②		1		2	1					
	化学概論Ⅰ	1①②		2								2
	化学概論Ⅱ	1③④		2								1
	基礎化学実験	2③		1								8
	生物学概論Ⅰ	1①②		2								2
	生物学概論Ⅱ	1③④		2								2
	基礎生物学実験	2①		1								7
小計(12科目)	-	6	15	0	5	1	0	0	0		20	
専門的知識	地球科学概論	1①②	2			3						
	地球科学実験	1③④	2			2						
	一般地質学	1③④	2			1						
	岩石・鉱物学	2①	2			2						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	地球・鉱物学実験	3①2③		3		2						
	地球殻物理学	2①	2			1						
	地球計算機実習	2①②		2		1	1					
	気象学	2②	2			1						
	地球電磁気学	2③	2			1						
	海洋物理学	2③	2			1						
	堆積学	2③		2		1						
	地質学実験	2③④		2		1	1					
	地球物理学実験Ⅰ	2③④		2		4	1					
	地球物理学実験Ⅱ	3①2③		3		5	1		1			
	雪氷学	2④	2			1						
	地球内部物理学	2④	2			1						
	火山学	2④	2			1						
	地球流体力学	3①	2			1						
	気水圏情報処理論	3②	2				1					
リモートセンシング学	3③	2			1							
地史学	3③	2			2							
小計(21科目)	-	20	24	0	11	4	0	1	0	0		
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2			1						
	災害地質学	2④	2			1						
	環境磁気学	3①	2			1						
	資源環境科学	3③	2			1						
	小計(4科目)	-	2	6	0	5	2	0	0	0	0	
「地域」の自然	野外実習Ⅰ	2①②		2		2	2					
	野外実習Ⅱ	3①②		2		4						
	地質調査法実習	3②③		3		4	2					
	小計(3科目)	-	0	7	0	4	2	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	地球・鉱物学実験	3①2③		3		2						
	地球殻物理学	2①	2			1						
	地球計算機実習	2①②		2		1	1					
	気象学	2②	2			1						
	地球電磁気学	2③	2			1						
	海洋物理学	2③	2			1						
	堆積学	2③		2		1						
	地質学実験	2③④		2		1	1					
	地球物理学実験Ⅰ	2③④		2		4	1					
	地球物理学実験Ⅱ	3①2③		3		5	1		1			
	雪氷学	2④	2			1						
	地球内部物理学	2④	2			1						
	火山学	2④	2			1						
	地球流体力学	3①	2			1						
	気水圏情報処理論	3②	2				1					
リモートセンシング学	3③	2			1							
地史学	3②	2			2							
小計(21科目)	-	20	24	0	11	4	0	1	0	0		
自然と人間の活動との関係について	地球情報学	2②	2			1						
	災害地質学	2④	2			1						
	環境磁気学	3①	2			1						
	資源環境科学	3③	2			1						
	小計(4科目)	-	2	6	0	5	2	0	0	0	0	
「地域」の自然	野外実習Ⅰ	2①②		2		2	2					
	野外実習Ⅱ	3①②		2		4						
	地質調査法実習	3②③		3		4	2					
	小計(3科目)	-	0	7	0	4	2	0	0	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	問題発見・解決力	1①②	2			11	4			1		
	基礎地球セミナー	2③④	2			1						
	科学英語	3①	2			10	4			1		
	洋書講読	3④	2			11	4			1		
	専攻セミナー	4通	12			11	4			1		
	卒業論文	-	20	0	0	11	4	0	1	0	0	
合計(170科目)			-	69	232	8	11	4	0	1	0	294
卒業要件及び履修方法												
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 24単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 9単位以上を履修] (2)専門基礎科目 8単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 2単位以上を履修] (3)専攻科目 59単位以上 [必修科目 42単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	問題発見・解決力	1①②	2			11	4			1		
	基礎地球セミナー	2③④	2			1						
	科学英語	3①	2			11	4			1		
	洋書講読	3④	2			11	4			1		
	専攻セミナー	4通	12			11	4			1		
	卒業論文	-	20	0	0	11	4	0	1	0	0	
合計(176科目)			-	69	242	8	11	4	0	1	0	302
卒業要件及び履修方法												
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 24単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 9単位以上を履修] (2)専門基礎科目 8単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 2単位以上を履修] (3)専攻科目 59単位以上 [必修科目 42単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学
脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海
アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学
環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ
日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎／富山学／産業観光学／富山のものづくり概論
富山の地域づくり／発展多言語演習ラテン語Ⅰ／発展多言語演習ラテン語Ⅱ／健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「野外実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては教授2名として提出済み)

【令和元年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／技術の世界／材料の科学／コンピュータの話／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会 / 環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学
時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情/芸術文化／日本事情/自然社会／学士力・人間力基礎／富山学
産業観光学／フランス語基礎Ⅰ／フランス語基礎Ⅱ／フランス語コミュニケーションⅠ／フランス語コミュニケーションⅡ／中国語基礎Ⅰ
中国語基礎Ⅱ／発展多言語演習ラテン語Ⅰ／発展多言語演習ラテン語Ⅱ／日本語コミュニケーションⅢ／日本語/専門研究
健康・スポーツ/講義/健康・スポーツ/実技/情報処理—A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「野外実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては教授2名として提出済み)
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
科学者・技術者倫理と知的財産／地史学
- 専攻科目における専任教員等の配置内容変更
教育効果を高めるため、以下の科目の専任教員の配置を変更する。
科学英語／洋書講読
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
化学概論Ⅰ／化学概論Ⅱ／基礎化学実験／生物学概論Ⅰ／生物学概論Ⅱ／基礎生物学実験

【令和2年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／材料の科学／生活の科学／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会／環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学
とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情／芸術文化／日本事情／自然社会
学士力・人間力基礎／富山学／地域ライフプラン／産業観光学／富山の地域づくり／フランス語基礎Ⅰ／フランス語基礎Ⅱ
フランス語コミュニケーションⅠ／フランス語コミュニケーションⅡ／中国語基礎Ⅰ／中国語基礎Ⅱ／日本語リテラシーⅡ
日本語コミュニケーションⅠ／日本語リテラシーⅢ／日本語／専門研究／日本語／ビジネス／健康・スポーツ／講義
健康・スポーツ／実技／情報処理-A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「野外実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授2」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては教授2名として提出済み)
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
「都市ブランドデザイン」「科学者・技術者倫理と知的財産」「地史学」「災害地質学」「洋書講読」
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実験・実習科目の開講時期の変更
「モビリティデザイン」「岩石・鉱物学実験」「地球物理学実験Ⅱ」「野外実習Ⅰ」
- 専攻科目における専任教員等の配置内容変更
教育効果を高めるため、以下の科目の専任教員の配置を変更する。
科学英語／洋書講読
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
化学概論Ⅰ／化学概論Ⅱ／基礎化学実験／生物学概論Ⅰ／生物学概論Ⅱ／基礎生物学実験

- (注)・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
32 科目	126 科目	8 科目	166 科目	32 科目 []	136 科目 [10]	8 科目 []	176 科目 [10]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計						
	校 舎 敷 地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²						
	運 動 場 用 地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²						
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²						
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²						
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²						
(2) 校 舎	専 用	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	- m ²	- m ²	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	ボイラー室及び動物飼育室撤去、特高受変電室及び厨房棟新築のため(2)					
	()	(228,130 225,644 223,262 222,893 m ²)	()	()	(228,130 225,644 223,262 222,893 m ²)	実験実習棟の竣工等のため(元) 第2大学食堂の増築等のため(30)					
(3) 教 室 等	講 義 室	131 133 室	演 習 室	242 237 217 室	実験実習室	676 671 630 室	情報処理学習施設	21 20 室	語学学習施設	3 4 室	大学全体
							(補助職員 14 -13 12人)	(補助職員 0 1人)		担当事務職員配置換え及び教室の用途変更のため(2) 実験実習棟の竣工及び教員1名補充のため(元) 学生の修学環境を改善するため(30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数							
	都市デザイン学部			48 室							
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数 新規受入、図書の整理のため(2)(元) (30)			
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕								
	都市デザイン学部	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0				
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0				
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0				
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0				
計	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0					
	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0					
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環境整備のため(2) (元)(30) 【収納可能冊数】書架を購入して、書棚を増やしたため、収納できる冊数が増加した(30)				
	13,855 m ²		1,512 1,502 1,566 1,567		1,056,750 1,043,783						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体					
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プ ー ル ・ テ ニ ス コ ー ト								

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨 (所要時間・距離等) を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更 (校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延) がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	170	14	709	-	1.03	1.05	-	昭和52	-	
人文学科	4	170	3年次 7	709	学士 (文学)	1.03	1.05	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(△15)
人間発達科学部	4	170	-	680	-	1.04	1.04	-	平成17	-	
発達教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	1.05	1.06	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士 (教育学)	1.03	1.02	-	平成17	同上	
経済学部	4	335	20	1,430	-	-	-	平成30	昭和28	-	
(昼間主コース)	4	305	20	1,280		1.02	1.02				
経済学科	4	120	3年次 4	364	学士 (経済学)	1.04	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経済学科	4	-	3年次 4	139	学士 (経済学)	-	-	-	昭和28	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	100	3年次 4	304	学士 (経営学)	1.01	1.04	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	3年次 4	119	学士 (経営学)	-	-	-	昭和49	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	85	3年次 2	257	学士 (法学)	1.01	1.02	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	3年次 2	97	学士 (法学)	-	-	-	昭和54	同上	平成30年より学生募集停止
(夜間主コース)	4	30	-	150		1.03	1.10				
経済学科	4	10	-	30	学士 (経済学)	1.10	1.20	平成30	平成30	同上	
経済学科	4	-	-	20	学士 (経済学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	10	-	30	学士 (経営学)	1.03	1.10	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	-	20	学士 (経営学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	10	-	30	学士 (法学)	1.00	1.00	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	-	20	学士 (法学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止

理学部	4	190	8	808	-	1.03	1.03	-	昭和52	-	
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.02	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	3年次 1	162	学士 (理学)	1.03	1.05	-	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
生物学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	40	学士 (理学)	-	-	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	3年次 1	122	学士 (理学)	1.05	1.00	-	平成5	同上	
医学部	-	185	45	995	-	-	-	-	昭和50	-	
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	1.00	平成30	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成5	同上	
薬学部	-	105	-	530	-	-	-	-	昭和24	-	
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.03	1.00	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.06	1.08	-	平成18	同上	
工学部	4	365	40	1,537	-	1.02	1.02	平成30	昭和24	-	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
工学科	4	365	3年次17	1,112	学士 (工学)	1.02	1.02	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	3年次 20 (各学科 共通)	88	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-		72	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-		90	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-		51	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
芸術文化学部	4	110		-	445	-	1.03	1.01	-	平成17	-
芸術文化学科	4	110	-	445	学士 (芸術文化 学)	1.03	1.01	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地	定員変更(△5)
都市デザイン学部	4	140	-	423	-	1.04	1.04	平成30	平成30	-	
地球システム科学科	4	40	-	120	学士 (理学)	1.02	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	3年次 1	121	学士 (工学)	1.03	1.02	平成30	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	3年次 2	182	学士 (工学)	1.06	1.08	平成30	平成30	同上	
大学全体	-	1,770	127	7,557	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	富山大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
人文科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	1.06	1.12	-	昭和61	-	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	1.12	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学研究科 (修士課程)	2	12	-	24	-	1.08	0.91	-	平成23	-	
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.66	0.66	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.49	1.16	-	平成23	同上	
経済学研究科 (修士課程)	2	18	-	36	-	0.85	0.77	-	平成3	-	
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	0.91	0.66	-	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.83	0.83	-	平成3	同上	
芸術文化科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	0.87	0.87	-	平成23	-	
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化 学)	0.87	0.87	-	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
生命融合科学教育部 (博士課程)	-	17	-	60	-	-	-	-	平成18	-	
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.71	0.44	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.58	0.75	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.50	0.25	-	平成18	同上	

医学薬学教育部	-	106	-	281	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	15	-	30		0.26	0.13				
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.26	0.13	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
(博士前期課程)	2	51	-	102		1.16	1.03				
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.40	0.37	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.51	1.34	-	平成22	同上	
(博士後期課程)	3	11	-	33		1.06	1.00				
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.11	1.00	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.04	1.00	-	平成24	同上	
(博士課程)	-	29	-	116		0.72	0.68				
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.96	0.88	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.35	0.57	-	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.31	0.00	-	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
理工学教育部	-	233	-	482	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	217	-	434		1.23	1.17				
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	0.62	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.04	0.75	-	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.20	1.08	-	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.29	1.25	-	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	1.00	-	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.80	0.80	-	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.24	1.06	-	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.25	1.14	-	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.45	1.60	-	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.52	1.33	-	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.04	1.09	-	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.35	1.45	-	平成24	同上	

(博士課程)	3	16	-	48		1.14	1.18			
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.20	1.80	-	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.66	1.50	-	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.99	0.66	-	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	0.50	-	平成18	同上
教職実践開発研究科 (専門職学位課程)	2	14	-	28	-	0.92	0.92	-	平成28	-
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.92	0.92	-	平成28	富山県富山市五福3190番地
大学院全体	-	416	-	943	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>	専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>	専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>	専	教授	大藤 茂 <平成30年4月>
		地球と環境 地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			地球と環境 地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			地球と環境 地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			地球科学実験 一般地質学 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>	専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>	専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>	専	教授	石崎 泰男 <平成30年4月>
		地球と環境 インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			地球と環境 インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			インターンシップA インターンシップB 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 火山学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	清水 正明 <平成30年4月>	専	教授	清水 正明 <平成30年4月>	専	教授		専	教授	
		地球科学概論 地球科学実験 基礎地球セミナー			地球科学概論 地球科学実験 基礎地球セミナー						
専	教授	小室 光世 <平成31年4月>	専	教授	小室 光世 <平成31年4月>	専	教授	小室 光世 <平成31年4月>	専	教授	小室 光世 <平成31年4月>
		物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			物質科学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球科学実験 岩石・鉱物学 岩石・鉱物学実験 資源環境科学 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>	専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>	専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>	専	教授	佐野 晋一 <平成30年4月>
		堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文			堆積学 地質学実験 地史学 野外実習Ⅰ 野外実習Ⅱ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 科学英語 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境 線形代数 地殻物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
		応用数学 基礎地球セミナー
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		科学と社会 自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		地球と環境 日本海学 データサイエンスⅠ/確率統計 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 雪氷学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		地球と環境 線形代数 地殻物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
		応用数学 基礎地球セミナー
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		データサイエンスⅠ/確率統計 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 雪氷学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		線形代数 地殻物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		データサイエンスⅠ/確率統計 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 雪氷学 基礎地球セミナー 科学英語 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 了 <平成30年4月>
		地球と環境 物質科学 微分積分 力学 物理学序論 基礎物理学実験 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球内部物理学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	楠本 成寿 <平成30年4月>
		線形代数 地殻物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	松浦 知徳 <平成30年4月>
専	教授	田口 文明 <平成31年4月>
		応用数学 地球計算機実習 海洋物理学 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	安永 数明 <平成30年4月>
		科学と社会 自然災害学 物理学序論 気象学 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 地球流体力学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月>
		データサイエンスⅠ/確率統計 地球科学概論 地球物理学実験Ⅰ 地球物理学実験Ⅱ 雪氷学 基礎地球セミナー 科学英語 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <平成32年4月> 地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		Maria Therese Cioppa <平成31年4月> 地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地球と環境 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <平成32年4月> 地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		Maria Therese Cioppa <平成31年4月> 地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地球と環境 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <令和2年4月> 地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		石川 尚人 <平成31年10月> 地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	堀 雅裕 <令和2年4月> 地球物理学実験Ⅱ リモートセンシング学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		石川 尚人 <平成31年10月> 地球電磁気学 地球物理学実験Ⅰ 基礎地球セミナー 科学英語 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産 災害地質学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地質学実験 地球情報学 野外実習Ⅰ 地質調査法実習 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
専	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL 物理学序論 基礎物理学実験 地球物理学実験Ⅱ 環境磁気学 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> データサイエンスⅡ/多変量解析 地域デザインPBL 地球計算機実習 地球物理学実験Ⅰ 気水圏情報処理論 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
		堀田 耕平 <平成30年4月> 全学横断PBL 地球物理学実験Ⅱ 基礎地球セミナー 洋書講読 専攻セミナー 卒業論文
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL
兼任	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	唐原 一郎 <平成30年4月> 生命の世界
兼任	教授	パハウ サイモン ピーター <平成30年4月> 異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月> 異文化間コミュニケーション 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ 日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	磯部 祐子 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	永井 龍男 <平成30年4月> 哲学のすすめ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生命の世界
兼任	教授	Wolfgang Zoubek <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	カザケヴィチ マルガリータ アレクサンドロヴナ <平成30年4月> ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	タランディス・ジェラルド <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	パハウ サイモン ピーター <平成30年4月> 異文化理解 日本事情/自然社会 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月> 日本語リテラシーⅠ
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	磯部 祐子 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	永井 龍男 <平成30年4月> 哲学のすすめ

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生物学概論Ⅱ
兼任	教授	唐原 一郎 <平成31年4月> 生物学概論Ⅱ
兼任	教授	Wolfgang Zoubek <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	カザケヴィチ マルガリータ アレクサンドロヴナ <平成30年4月> ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	パハウ サイモン ピーター <平成30年4月> 異文化理解 日本事情/自然社会 日本語/ビジネス
兼任	教授	モヴシュク・オレクサンダー <平成31年4月> はじめての経済学
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月> 日本語リテラシーⅠ 日本語/専門研究
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	伊藤 弘昭 <令和2年4月> 技術の世界
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	永井 節夫 <令和2年4月> 自然と情報の数理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生物学概論Ⅱ 生命の世界
兼任	教授	唐原 一郎 <平成31年4月> 生物学概論Ⅱ
兼任	教授	Wolfgang Zoubek <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	カザケヴィチ マルガリータ アレクサンドロヴナ <平成30年4月> ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	教授	タランディス・ジェラルド <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	モヴシュク・オレクサンダー <平成31年4月> はじめての経済学
兼任	教授	ヨフコバ四位 エレオノラ <平成30年4月> 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅢ 異文化間コミュニケーション
兼任	教授	阿部 孝之 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	阿部 仁 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	教授	伊藤 弘昭 <令和2年4月> 技術の世界
兼任	教授	磯崎 尚子 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	永井 節夫 <令和2年4月> 自然と情報の数理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月> 哲学のすすめ 人間と倫理 医療と地域社会
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 富山学 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月> 自然と情報の数理 情報処理-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮 一志 <平成30年4月> 障害とアクセシビリティ
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月> 医療と地域社会
兼任	教授	宮内 伸子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II ドイツ語コミュニケーション I ドイツ語コミュニケーション II
兼任	教授	橋口 賢一 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	橋爪 和夫 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	橋本 勝 <平成30年4月> 現代社会論 新聞投稿に挑戦
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	栗本 猛 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	後藤 敏伸 <平成30年4月> 美術

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月> 医療と地域社会
兼任	教授	宮内 伸子 <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーション I ドイツ語コミュニケーション II
兼任	教授	橋口 賢一 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	橋爪 和夫 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	橋本 勝 <平成30年4月> 現代社会論 新聞投稿に挑戦
兼任	教授	金 奉吉 <平成31年4月> 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	古田 高士 <平成31年4月> 情報処理-A
兼任	教授	鼓 みどり <平成31年4月> 美術

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮井 清暢 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	宮島 光志 <平成30年4月> 医療と地域社会
兼任	教授	宮内 伸子 <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーション I ドイツ語コミュニケーション II
兼任	教授	橋爪 和夫 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	橋本 勝 <平成30年4月> 現代社会論 新聞投稿に挑戦
兼任	教授	金岡 省吾 <平成30年4月> 地域ライフプラン 産業観光学 富山のものづくり概論 富山の地域づくり
兼任	教授	隅 敦 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	栗本 猛 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	桑井 智彦 <令和2年4月> 物理の世界

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	准教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼担	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼担	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	恒川 正巳 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼担	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼担	准教授	高橋 浩二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼担	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	高橋 満彦 <平成30年4月> 日本国憲法
兼担	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼担	准教授	高島 圭史 <平成30年4月> デザインと生物
兼担	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ
兼担	教授	根岸 秀行 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼担	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼担	教授	佐藤 徳 <平成30年4月> こころの科学
兼担	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼担	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼担	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼担	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育
兼担	教授	山根 拓 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼担	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼担	教授	高島 圭史 <平成30年4月> デザインと生物
兼担	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ
兼担	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼担	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼担	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼担	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼担	教授	笹木 亮 <平成31年4月> 技術と社会
兼担	教授	山根 拓 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	恒川 正巳 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼担	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼担	教授	高橋 浩二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼担	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	高橋 満彦 <平成30年4月> 日本国憲法
兼担	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼担	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ
兼担	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼担	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼担	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼担	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育
兼担	教授	笹木 亮 <平成31年4月> 技術と社会

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月> デザインと生物

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月> 技術と社会
兼任	教授	倉光 英樹 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大坪 史尚 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月> 技術の世界
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月> デザインと生物
兼任	教授	池本 弘之 <平成30年4月> 物理の世界

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	石川 秀明 <平成31年4月> 自然と情報の数理
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月> 技術と社会
兼任	教授	前澤 宏一 <平成31年4月> 物理の世界
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	竹村 卓 <平成31年4月> 現代社会論

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	川口 清司 <平成30年4月> 技術と社会
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼担	教授	龍 世祥 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	會澤 宣一 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼担	教授	立石 孝夫 <平成30年4月> 経済生活と法 市民生活と法
兼担	教授	龍 世祥 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ 環境
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	立石 孝夫 <平成30年4月> 経済生活と法 市民生活と法
兼担	教授	鈴木 基史 <平成31年4月> 経営資源のとらえ方
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	澤田 稔 <平成31年4月> 東洋の歴史と社会
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅢ
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理 科学と社会
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅢ 日本事情/自然社会 日本語/ビジネス
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	特命教授	船橋 伸一 <令和2年4月> 英語コミュニケーションⅡ-A
兼担	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料
兼担	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	若杉 雅浩 <平成30年4月> 災害救援ボランティア論
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月> 日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	松倉 茂 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	准教授	深谷 公宣 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	若山 育代 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	准教授	若林 文晴 <平成30年4月> 市場と企業の関係
兼任	准教授	小谷 瑛輔 <平成30年4月> 日本文学
兼任	准教授	小木曾 左枝子 <平成30年4月> 日本語コミュニケーションⅠ 日本語コミュニケーションⅢ
兼任	准教授	松山 淳 <平成30年4月> はじめての経済学
兼任	准教授	上田 肇一 <平成30年4月> 自然と情報の数理
兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月> 朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月> 応用情報処理
兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	准教授	森嶋 秀紀 <平成30年4月> 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	出口 英生 <平成31年4月> 自然と情報の数理
兼任	准教授	小寺 剛 <平成31年4月> はじめての経済学
兼任	講師	小木曾 左枝子 <平成30年4月> 異文化間コミュニケーション 日本語コミュニケーションⅠ
兼任	准教授	小野 恭史 <平成31年4月> 技術と社会
兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月> 朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	准教授	森嶋 秀紀 <平成30年4月> 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	若山 育代 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	准教授	若林 文晴 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ
兼任	准教授	松山 淳 <平成30年4月> はじめての経済学
兼任	准教授	上保 敏 <平成30年4月> 朝鮮語基礎Ⅰ 朝鮮語基礎Ⅱ
兼任	准教授	上木 佐季子 <平成30年4月> 情報処理-A 応用情報処理
兼任	准教授	森 雅之 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	准教授	森嶋 秀紀 <平成30年4月> 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月> 生活の科学
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	島添 貴美子 <平成30年4月> 音楽
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	島田 互 <平成31年4月> 地球と環境
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	准教授	柏木 健司 <平成31年4月> デザインと生物
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤井 雅文 <令和2年4月> 自然と情報の数理
兼任	准教授	藤本 孝子 <令和2年4月> 生活の科学
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <令和2年4月> 美術
兼任	准教授	柏木 健司 <平成31年4月> デザインと生物
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語
兼任	准教授	福島 洋樹 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II
						兼任	講師	名取 雅航 <平成31年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A	兼任	講師	名取 雅航 <平成31年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A
			兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II
						兼任	講師	要門 美規 <平成31年10月> 日本語コミュニケーション III			
			兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II
			兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語コミュニケーション I ドイツ語コミュニケーション II	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II
			兼任	講師	高島 彬 <平成30年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

<p>○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増</p> <ul style="list-style-type: none">・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」・秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」・根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」 <p>○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更</p> <ul style="list-style-type: none">・上記以外の教養教育科目における変更

【令和元年度】

<p>○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増</p> <ul style="list-style-type: none">・徳永 洋介／澤田 稔「東洋の歴史と社会」・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」・鈴木 晃志郎／山根 拓「地域の経済と社会・文化」・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」 <p>○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更</p> <ul style="list-style-type: none">・上記以外の教養教育科目における変更 <p>○専任教員変更による担当教員の変更（平成30年11月教員審査済）</p> <ul style="list-style-type: none">・石川 尚人「地球電磁気学」、「地球物理学実験Ⅰ」、「基礎地球セミナー」、「科学英語」、「洋書講読」、「専攻セミナー」、「卒業論文」・佐野 晋一「科学英語」・杉浦 幸之助「科学英語」 <p>○平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増</p> <ul style="list-style-type: none">・大澤 力「化学概論Ⅰ」・宮澤真宏「化学概論Ⅱ」・鈴木 炎、大澤 力、宮澤真宏、林 直人、岩村宗高、横山 初、吉野惇郎、大津英揮「基礎化学実験」・若杉達也、岩坪美兼「生物学概論Ⅰ」・松田恒平、唐原一郎「生物学概論Ⅱ」・山崎裕治、前川清人、土田 努、山本将之、今野紀文、玉置大介、森岡絵里「基礎生物学実験」

【令和2年度】

<p>○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増</p> <ul style="list-style-type: none">・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／八百 章嘉「国家と市民」・鈴木 晃志郎／大西 宏治「地域の経済と社会・文化」・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」 <p>○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更</p> <ul style="list-style-type: none">・上記以外の教養教育科目における変更 <p>○教養教育科目における担当教員職位変更</p> <ul style="list-style-type: none">・伊藤 智樹：准教授→教授・武田 昭文：准教授→教授 <p>○専攻科目におけ担当教員の変更</p> <ul style="list-style-type: none">・専任教員変更による担当教員の変更（平成30年11月教員審査済）石川 尚人「地球電磁気学」、「地球物理学実験Ⅰ」、「基礎地球セミナー」、「科学英語」、「洋書講読」、「専攻セミナー」、「卒業論文」佐野 晋一「科学英語」杉浦 幸之助「科学英語」・上記以外の専攻科目における担当教員の変更 <p>○平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増</p> <ul style="list-style-type: none">・鈴木 炎 「化学概論Ⅰ」・宮澤真宏 「化学概論Ⅱ」・鈴木 炎、宮澤真宏、林 直人、岩村宗高、横山 初、吉野惇郎、大津英揮 「基礎化学実験」・若杉達也、望月貴年 「生物学概論Ⅰ」・松田恒平、唐原一郎 「生物学概論Ⅱ」・山崎裕治、前川清人、土田 努、山本将之、今野紀文、玉置大介、森岡絵里、佐藤杏子 「基礎生物学実験」

(注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
11	4	0	1	16		11	4	0	1	16	0
(9)	(4)	(0)	(1)	(14)	[]						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
11	4	0	1	16	0	11	4	0	1	16	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	Maria Therese Cioppa	H31.4	必修	地球電磁気学	①							
				選択	地球物理学実験 I	①							
				必修	基礎地球セミナー	①							
				必修	科学英語	①							
				必修	専攻セミナー	①							
				必修	卒業論文	①							
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
		(該当なし)											
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)									
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)							
1	人	必修	5	科目	必修	5	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{16} = 6.25 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	清水 正明	必修	地球科学概論	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)							
			必修	地球科学実験	①								
			必修	基礎地球セミナー	①								
2	教授	松浦 知徳	選択	応用数学	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)							
			必修	基礎地球セミナー	①								
合計			後任補充状況の集計										
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	4	科目	必修	4	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 地球システム科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
○学位の英語名称 学士（理学） 「Bachelor of Science in Earth System Science」	学内において授与する学位名称の整合性を図るため、 学位の英語名称を以下のとおり変更する。 学士（理学） 「Bachelor of Science」

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・ 富山大学都市デザイン学部教授会を設置 ・ 富山大学都市デザイン学部運営委員会 ・ 富山大学都市デザイン学部FD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・ 富山大学都市デザイン学部教授会 定例：毎月第3水曜日に開催（4/20-22開催（メール会議） 構成員49人中49人出席） ・ 富山大学都市デザイン学部運営委員会 定例：教授会開催日前週の月曜日に開催（4/13開催 構成員9人中9人出席） 臨時：随時（4/28-5/1開催（メール会議） 構成員9人中9人出席） ・ 富山大学都市デザイン学部FD委員会 随時開催 c 委員会の審議事項等 ・ 富山大学都市デザイン学部教授会 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項 ・ 富山大学都市デザイン学部運営委員会 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項 ・ 富山大学都市デザイン学部FD委員会 教育内容及び教育方法の改善に関する事項 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・入試内容の評価・検討
- ・学生授業アンケートの実施・分析
- ・教育研究指導體制の検討
- ・FD研修会及び講演会の開催

b 実施方法

- ・学部教授会及び学部運営委員会において実施概要について議論を行う。
- ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和元年度は2回のFDを開催し、学部教員は延べ82人が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年4回実施（実施時期：6月、8月、11月及び2月、1～4タームの各授業終了期）

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・教員には担当授業に係る集計を情報提供
- ・アンケート集計結果については、本学ウェブサイトにおいて、学生を始め、学外に対し公表することとしている。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度は、AO入試3名（志願者5名）、帰国生徒特別入試1名（同1名）、私費外国人留学生入試1名（同1名）、一般入試前期日程26名（同69名）及び後期日程9名（同189名）と計40名が入学した。一方、令和元年度に退学者1名があり在学者数は122名となった。

施設整備においては、新たに実験実習棟が完成し、講義や実験実習はもちろん、学生の自主的な研究や教員の研究に幅広く活用されている。教育・研究環境の整備は計画通りに進行している。

また、「全学横断PBL」の全学展開のためのシンポジウム開催、PBLをサポートする協議会による「まちなかサテライトキャンパス」の実施を通して、大学と地域が連携する教育プログラムの基礎をつくってきた。概ね満足のいく目的達成状況であるといえる。

今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名

富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日 (元)
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (都市・交通 デザイン学 科)	(クボタ ヨシアキ) 久保田 善明 (平成30年4月)	(ヤグチ タダノリ) 矢口 忠憲 (令和2年4月) (ハラ タカシ) 原 隆史 (平成31年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日(2) 任期満了のため 平成31年4月1日 (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科 学士(工学)	工学関係	4年	40人	3年次 1人	162人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	40人	—人	(—) [—]	(—) [—]	40人	—人	(—) [—]	(—) [—]	40人	—人	(—) [—]	(—) [—]	1.03倍	—
志願者数	238	—	(—) [1]	(—) [—]	208	—	(—) [3]	(—) [—]	181	—	(2) [1]	(—) [—]		
受験者数	195	—	(—) [1]	(—) [—]	140	—	(—) [3]	(—) [—]	133	—	(2) [0]	(—) [—]		
合格者数	45	—	(—) [0]	(—) [—]	49	—	(—) [1]	(—) [—]	45	—	(0) [0]	(—) [—]		
B 入学者数	42	—	(—) [—]	(—) [—]	41	—	(—) [1]	(—) [—]	41	—	(0) [0]	(—) [—]		
入学定員超過率 B/A	1.05		1.02		1.02		1.02							

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	42 [—] (—)	— [—] (—)	41 [1] (—)	— [—] (—)	41 [—] (—)	— [—] (—)					
2年次	/		42 [—] (—)	— [—] (—)	41 [1] (—)	— [—] (—)					
3年次			/		/		40 [—] (—)	— [—] (—)			
4年次	/						/		/		
計			42 [—] (—)	83 [1] (—)	122 [1] (—)						

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	42 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	83 人	2 人	平成30年度	2 人	0 人	・海外留学(1人)・転学部(1人)
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	122 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合 計		2 人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{42} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{83} = \boxed{2.4} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{122} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2							1
	人間と倫理	1前・後	2								1
	こころの科学	1前・後	2								1
	現代と教育	1前・後	2								1
	日本の歴史と社会	1前・後	2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後	2								1
	日本文学	1前・後	2								1
	外国文学	1前・後	2								1
	言語と文化	1前・後	2								1
	音楽	1前・後	2								1
	美術	1前・後	2								1
	言語表現	1前・後	2								1
	治療の文化史	1前・後	2								1
	異文化間コミュニケーション	1前・後	2								1
	異文化理解	1前・後	2								1
小計(15科目)			-	0	30	0	0	0	0	0	-
社会科学系	現代社会論	1前・後	2								1
	日本国憲法	1前・後	2								1
	経済生活と法	1前・後	2								1
	市民生活と法	1前・後	2								1
	はじめての経済学	1前・後	2								1
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2								1
	経営資源のとらえ方	1前・後	2								1
	市場と企業の関係	1前・後	2								1
	小計(8科目)			-	0	16	0	0	0	0	0
自然科学系	地球と環境	1前・後	2								6
	生命の世界	1前・後	2								2

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								2
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									4
	現代と教育	1前・後	2									8
	日本の歴史と社会	1前・後	2									3
	東洋の歴史と社会	1前	2									1
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									5
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									3
	言語と文化	1前・後	2									4
	音楽	1前・後	2									2
	美術	1前・後	2									14
	言語表現	1後	2									1
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション	1後	2									1
	異文化理解	1前	2									1
小計(16科目)			-	0	32	0	0	0	0	0	0	57
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									4
	日本国憲法	1前・後	2									3
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									5
	市民生活と法	1前・後	2									4
	はじめての経済学	1前・後	2									5
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									4
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									3
	市場と企業の関係	1前・後	2									2
	地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2
小計(10科目)			-	0	20	0	0	0	0	0	0	33
自然科学系	地球と環境	1前・後	2									3
	生命の世界	1前・後	2									4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	物理の世界	1前・後		2							2
	化学物質の世界	1前・後		2							2
	自然と情報の数理	1前・後		2							1
	社会と情報の数理	1前・後		2							1
	技術の世界	1前・後		2							2
	材料の科学	1前・後		2							3
	生活の科学	1前・後		2							1
	コンピュータの話	1前・後		2		1					
	デザインと生物	1前・後		2							1
	小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	-
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後		2							1
	概説医療心理学	1前・後		1							1
	認知科学	1前・後		2							1
	脳科学入門	1前・後		2							1
	生命科学入門	1前・後		1							2
	免疫学入門	1前・後		2							1
	身近な医学	1前・後		2							1
	障害とアクセシビリティ	1前・後		2							1
	医療と地域社会	1前・後		2							2
	小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	-
総合科目系	環境	1前・後		2							1
	ジェンダー	1前・後		2							1
	技術と社会	1前・後		2							2
	現代文化	1前・後		2							1
	人権と福祉	1前・後		2							1
	環日本海	1前・後		2							1
	科学と社会	1前・後		2							1
	アカデミック・デザイン	1前・後		2							1
	ビジネス思考	1前・後		2							1
	平和学入門	1前・後		2							1
教養教育科目	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後		2							1
	新聞投稿に挑戦	1前・後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	物理の世界	1前・後		2							2
	化学物質の世界	1前・後		2							3
	自然と情報の数理	1前・後		2							6
	社会と情報の数理	1前		2							1
	技術の世界	1前・後		2							3
	材料の科学	1後		2							3
	生活の科学	1前		2							2
	コンピュータの話	1前・後		2		1					1
	デザインと生物	1後		2							2
	小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	30
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2							1
	概説医療心理学	1前		1							1
	認知科学	1後		2							1
	脳科学入門	1後		2							2
	生命科学入門	1前		1							2
	免疫学入門	1前		2							1
	身近な医学	1後		2							1
	障害とアクセシビリティ	1前		2							1
	医療と地域社会	1後		2							1
	小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	7
総合科目系	環境	1前		2							2
	ジェンダー	1前・後		2							1
	技術と社会	1前・後		2							10
	現代文化	1後		2							1
	人権と福祉	1前・後		2							1
	環日本海	1前		2							2
	科学と社会	1前・後		2							10
	アカデミック・デザイン	1後		2							1
	ビジネス思考	1後		2							1
	平和学入門	1前		2							1
教養教育科目	東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後		2							1
	新聞投稿に挑戦	1後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	富山から考える震災・復興学	1前・後		2							1
	環境と安全管理	1前・後		2							1
	万葉学	1前・後		2							1
	日本海学	1前・後		2							1
	富山大学学	1前・後		2							1
	とやま地域学	1前・後		2							1
	時事的問題	1前・後		2							1
	災害救援ボランティア論	1前・後		2							1
	感性をはぐくむ	1前・後		2							1
	日本事情／芸術文化	1前・後		2							1
	日本事情／自然社会	1前・後		2							1
	学士力・人間力基礎	1前・後		2							1
	富山学	1前・後		2							3
	地域ライフプラン	1前・後		2							3
	産業観光学	1前・後		2							3
	富山のものづくり概論	1前・後		2							4
	富山の地域づくり	1前・後		2							3
	小計(28科目)	-	0	56	0	0	0	0	0	0	-
教養教育科目	外国語系										
	英語リテラシーⅠ-A	1前	1								7
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1								7
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1								7
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1								7
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1								1
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1								1
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1								1
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1								1
	フランス語基礎Ⅰ	1前	1								1
	フランス語基礎Ⅱ	1後	1								1
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1								1
フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	富山から考える震災・復興学	1後		2							1
	環境と安全管理	1前		2							2
	万葉学	1前		2							1
	日本海学	1後		2							1
	富山大学学	1後		2							1
	とやま地域学	1前		2							1
	時事的問題	1前		2							1
	災害救援ボランティア論	1後		2							1
	感性をはぐくむ	1前		2							1
	日本事情／芸術文化	1後		2							1
	日本事情／自然社会	1前		2							1
	学士力・人間力基礎	1前		2							1
	富山学	1前		2							1
	地域ライフプラン	1前		2							3
	産業観光学	1後		2							2
	富山のものづくり概論	1前・後		2							4
	富山の地域づくり	1前		2							4
	小計(29科目)	-	0	58	0	0	0	0	0	0	48
教養教育科目	外国語系										
	英語リテラシーⅠ-A	1前	1								11
	英語リテラシーⅡ-A	1後	1								15
	英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1								11
	英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1								14
	ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1								6
	ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1								6
	ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1								6
	ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1								5
	フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1								2
	フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1								3
	フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1								5
フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後	1								5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	中国語基礎 I	1前		1							1
	中国語基礎 II	1後		1							1
	中国語コミュニケーション I	1前		1							1
	中国語コミュニケーション II	1後		1							1
	朝鮮語基礎 I	1前		1							1
	朝鮮語基礎 II	1後		1							1
	朝鮮語コミュニケーション I	1前		1							1
	朝鮮語コミュニケーション II	1後		1							1
	ロシア語基礎 I	1前		1							1
	ロシア語基礎 II	1後		1							1
	ロシア語コミュニケーション I	1前		1							1
	ロシア語コミュニケーション II	1後		1							1
	日本語リテラシー I	1前		1							2
	日本語リテラシー II	1後		1							2
	日本語コミュニケーション I	1前		1							2
	日本語コミュニケーション II	1後		1							2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1						1
	発展多言語演習中国語	2前			1						1
	発展多言語演習ラテン語 I	2前			1						1
	発展多言語演習ラテン語 II	2後			1						1
	日本語コミュニケーション III	2前			1						1
	日本語リテラシー III	2前			1						1
	日本語／専門研究	2後			1						1
	日本語／ビジネス	2後			1						1
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	19
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後		1							1
	健康・スポーツ／実技	1前		1							1
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	-
情報処理系	情報処理—A	1前	2			1					3
	応用情報処理	1後		2							1
	小計(2科目)	-	2	2	0	1	0	0	0	0	4
学部共通科目	データサイエンス I / 確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンス II / 多変量解析	2①	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	中国語基礎 I	1前・後		1							10
	中国語基礎 II	1前・後		1							10
	中国語コミュニケーション I	1前		1							5
	中国語コミュニケーション II	1後		1							5
	朝鮮語基礎 I	1前		1							1
	朝鮮語基礎 II	1後		1							2
	朝鮮語コミュニケーション I	1前		1							2
	朝鮮語コミュニケーション II	1後		1							2
	ロシア語基礎 I	1前		1							2
	ロシア語基礎 II	1後		1							1
	ロシア語コミュニケーション I	1前		1							1
	ロシア語コミュニケーション II	1後		1							1
	日本語リテラシー I	1前		1							1
	日本語リテラシー II	2後		1							1
	日本語コミュニケーション I	2前		1							1
	日本語コミュニケーション II	1後		1							2
	発展多言語演習ドイツ語	2前			1						1
	発展多言語演習中国語	2前			1						1
	発展多言語演習ラテン語 I	2前			1						1
	発展多言語演習ラテン語 II	2後			1						1
	日本語コミュニケーション III	2前			1						1
	日本語リテラシー III	2後			1						1
	日本語／専門研究	1前			1						1
	日本語／ビジネス	1後			1						1
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	71
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1							8
	健康・スポーツ／実技	1前・後		1							16
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	17
情報処理系	情報処理—A	1前・後	2				1				12
	応用情報処理	1後		2							5
	小計(2科目)	-	2	2	0	1	0	0	0	0	15
学部共通科目	データサイエンス I / 確率統計	1③④	2			1					
	データサイエンス II / 多変量解析	2③	2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2			1					
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1					7
	インフラ材料	2①	2				1					1
	デザイン思考基礎	2②	2			1						
	物質科学	2②	2									6
	自然災害学	2③	2				1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1						
	モビリティデザイン	3①		2								1
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1			4
	インターンシップA	3②③		1			6					
	インターンシップB	3②③		2			6					
	地域デザインPBL	3③	1			2	2					6
	都市ブランドデザイン	3③		2								1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1						3
	小計(16科目)	-	17	12	0	7	6	0	1	0		19
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2				1					
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1			
	線形代数Ⅰ	1①②	2				1					
	線形代数Ⅱ	1③④		2			1					
	力学	1①②	2				1					
	応用数学	2④		2			1					
	小計(6科目)	-	6	6	0	0	5	0	1	0		-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎	3①		2			1					
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1					7
	インフラ材料	2①	2				1					1
	デザイン思考基礎	2②	2				1					
	物質科学	2②	2									6
	自然災害学	2③	2				1					1
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1						
	モビリティデザイン	3④		2								1
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1			4
	インターンシップA	3②③		1			6					
	インターンシップB	3②③		2			6					
	地域デザインPBL	3③	1			2	2					6
	都市ブランドデザイン	3②		2								1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3③	2			1						3
	小計(16科目)	-	17	12	0	7	6	0	1	0		19
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2				1					
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1			
	線形代数Ⅰ	1①②	2				1					
	線形代数Ⅱ	1③④		2			1					
	力学	1①②	2				1					
	応用数学	2④		2			1					
	小計(6科目)	-	6	6	0	0	5	0	1	0		-

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに関する専門的学識	入門ゼミナール	1①②	2		3	3		1			
		都市と交通を支える建設技術の基礎知識	1①②	2		4						
		工学概論／土木・建築	1③④		2	8	6					
		プログラミング基礎	2②	2			1					
		プログラミング演習	2④		2		1					
		測量学及び実習	2③	1		1			1			
		グローバル・エンジニアへのいざない	3③④	2		9	6					
		職業指導	3④		2							1
		小計(8科目)	-	9	2	4	9	6	0	2	0	1
	都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学	2①		2		3	2				
都市と交通の基礎理論		2④	2			1						
都市景観デザイン		2④		2		1			1			
都市デザイン史		3①		2		4	1		1			
都市のライフラインと建築設備		3③		2		1						
都市と建築の環境学		3③		2		1						
鉄軌道と道路		3④		2		2						
都市・交通情報通信		3④		2		1						
小計(8科目)	-	2	14	0	8	3	0	1	0	-		
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論	1①②		2							3	
	構造力学基礎	2①	2				1					
	地盤工学基礎	2①	2			1						
	水理・水工学基礎	2②	2			1						
	地球情報学	2②		2							1	
	設計製図Ⅰ	2③	2						1			
	設計製図Ⅱ	3②		2		1			1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震	2③		2		1	1					
	地盤工学の応用と建設施工	2③		2		1						
	水理・水工学の応用と河川・海岸	2④		2		1						
構造・材料実験	3①	1						1				
インフラ設計学	3①		2		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに関する専門的学識	入門ゼミナール	1①②	2		3	3		1			
		都市と交通を支える建設技術の基礎知識	1①②	2		4						
		工学概論／土木・建築	1③④		2	8	6					
		プログラミング基礎	2②	2			1					
		プログラミング演習	2④		2		1					
		測量学及び実習	2③	1		1			1			
		グローバル・エンジニアへのいざない	3③④	2		9	6					
		職業指導	3②		2							1
		工学概論／電気電子	1②		2							2
		工学概論／情報	1②		2							4
	工学概論／機械	1②		2							8	
	工学概論／化学・生物	1②		2							8	
	工学概論／金属	2②		2							7	
	小計(13科目)	-	9	2	14	9	6	0	2	0	31	
都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学	2①		2		3	2					
	都市と交通の基礎理論	2④	2			1						
	都市景観デザイン	2④		2		1			1			
	都市デザイン史	3①		2		4	1		1			
	都市のライフラインと建築設備	3③		2		1						
	都市と建築の環境学	3②		2		1						
	鉄軌道と道路	3④		2		2						
	都市・交通情報通信	3④		2		1						
小計(8科目)	-	2	14	0	8	3	0	1	0	-		
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論	1①②		2							3	
	構造力学基礎	2①	2				1					
	地盤工学基礎	2①	2			1						
	水理・水工学基礎	2②	2			1						
	地球情報学	2②		2							1	
	設計製図Ⅰ	2③	2						1			
	設計製図Ⅱ	3②		2		1			1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震	2③		2		1	1					
	地盤工学の応用と建設施工	2③		2		1						
	水理・水工学の応用と河川・海岸	2④		2		1						
構造・材料実験	3④	1							1			
インフラ設計学	3①		2		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門	コンクリート構造	3①	2			1					
	地盤・水理実験	3②	1					1				
	アセットマネジメント	3②		2		1						
	防災と情報	3②		2			1					
	やってみようゼミナールA	3③		1			2		1			
	やってみようゼミナールB	3④		1		2	2					
	小計(18科目)	-	10	22	0	5	5	0	2	0	3	
建築に関する専門的学識	建築論	1-2-3-4③②		2								1
	建築と文化	1-2-3-4③②		2								1
	人間工学概論	1-2-3-4③②		2								1
	人と空間	1-2-3-4③②		2								1
	生活と環境	1-2-3-4③②		2		1						
	まちづくり	1-2-3-4③②		2								1
	建築製図	1-2-3-4③②		2								1
	日本・東洋建築史	1-2-3-4③②		2								1
	西洋建築史	1-2-3-4③④		2								1
	近・現代建築意匠	1-2-3-4③④		2								1
	建築計画	1-2-3-4③④		2								1
	構造計画	1-2-3-4③④		2								1
	建築生産	1-2-3-4③④		2								1
	住居論	1-2-3-4③④		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2①②		2								3
	空間デザインC(戸建住宅)	2③④		2								2
	空間デザインD(集合住宅)	3①②		2								2
	空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3③④		2								2
	建築法規	3②		1								1
	小計(19科目)	-	0	37	0	1	0	0	0	0	0	10
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		
	小計(1科目)	-	10	0	0	9	6	0	0	0		-
	合計(187科目)	-	60	261	12	9	6	0	2	0	0	100

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門	コンクリート構造	3②	2			1					
	地盤・水理実験	3③	1						1			
	アセットマネジメント	3②		2		1						
	防災と情報	3②		2			1					
	やってみようゼミナールA	3④		1			2		1			
	やってみようゼミナールB	3④		1		2	2					
	小計(18科目)	-	10	22	0	5	5	0	2	0	3	
建築に関する専門的学識	建築論	3③		2								1
	建築と文化	1③④		2								1
	人間工学概論	2②		2								1
	人と空間	1-2-3-4③②		2								1
	生活と環境	2①		2		1						
	まちづくり	2①		2								1
	建築製図	1-2-3-4③②		2								1
	日本・東洋建築史	3①		2								1
	西洋建築史	1-2-3-4③④		2								1
	近・現代建築意匠	1-2-3-4③④		2								1
	建築計画	2④		2								1
	構造計画	2①		2								1
	建築生産	3③		2								1
	住居論	2①		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2②		2								4
	空間デザインC(戸建住宅)	2③		2								3
	空間デザインD(集合住宅)	2④		2								2
	空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3①②		2								3
	建築法規	3②		1								1
	小計(19科目)	-	0	37	0	1	0	0	0	0	0	10
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		
	小計(1科目)	-	10	0	0	9	6	0	0	0		0
	合計(196科目)	-	60	269	22	9	6	0	2	0	0	305

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 20単位以上 [必修科目 17単位、選択科目 3単位以上を履修] (2)自然科学全般を理解するための基礎科目 6単位以上 [必修科目 6単位以上を履修] (3)専攻科目 65単位以上 [必修科目 21単位、選択科目 44単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 20単位以上 [必修科目 17単位、選択科目 3単位以上を履修] (2)自然科学全般を理解するための基礎科目 6単位以上 [必修科目 6単位以上を履修] (3)専攻科目 65単位以上 [必修科目 21単位、選択科目 44単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>											

【平成30年度】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								3
	人間と倫理	1前・後		2								2
	こころの科学	1前・後		2								4
	現代と教育	1前・後		2								7
	日本の歴史と社会	1前・後		2								4
	東洋の歴史と社会	1前		2								1
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								4
	日本文学	1前・後		2								6
	外国文学	1前・後		2								2
	言語と文化	1前・後		2								5
	音楽	1前・後		2								4
	美術	1前・後		2								8
	言語表現	1後		2								2
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション(未開講)	1前・後		2								1
異文化理解	1前		2								1	
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	53
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								6
	日本国憲法	1前・後		2								5
	国家と市民	1前・後		2								4
	経済生活と法	1前・後		2								3
	市民生活と法	1前・後		2								8
	はじめての経済学	1前・後		2								4
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								4
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								4
	市場と企業の関係	1前・後		2								3
	地域の経済と社会・文化	1前・後		2								2
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								3
	人間と倫理	1前・後		2								2
	こころの科学	1前・後		2								2
	現代と教育	1前・後		2								7
	日本の歴史と社会	1前・後		2								4
	東洋の歴史と社会	1前・後		2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								4
	日本文学	1前・後		2								6
	外国文学	1前・後		2								3
	言語と文化	1前・後		2								4
	音楽	1前・後		2								2
	美術	1前・後		2								14
	言語表現	1後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション	1前		2								1
異文化理解	1前		2								1	
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	56
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								6
	日本国憲法	1前・後		2								4
	国家と市民	1前・後		2								4
	経済生活と法	1前・後		2								5
	市民生活と法	1前・後		2								6
	はじめての経済学	1前・後		2								5
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								5
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								3
	市場と企業の関係	1前・後		2								2
	地域の経済と社会・文化	1前・後		2								2
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2								5
	生命の世界	1前・後		2								3
	物理の世界	1前・後		2								3
	化学物質の世界	1前・後		2								4
	自然と情報の数理	1前・後		2								4
	社会と情報の数理(未開講)	1前・後		2								1
	技術の世界	1前・後		2								4
	材料の科学	1後		2								3
	生活の科学	1前		2								1
	コンピュータの話	1前		2								2
デザインと生物	1後		2								3	
小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	0	32	
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2								2
	概説医療心理学	1前		1								1
	認知科学	1後		2								1
	脳科学入門	1後		2								2
	生命科学入門	1前		1								2
	免疫学入門	1前		2								2
	身近な医学	1後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前		2								5
	医療と地域社会	1後		2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	13	
総合科目系	環境	1前・後		2								3
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								4
	現代文化	1後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前		2								2
	科学と社会	1前・後		2								7
	アカデミック・デザイン	1後		2								2
	ビジネス思考	1後		2								2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系											
	地球と環境	1前・後		2								3
	生命の世界	1前・後		2								4
	物理の世界	1前・後		2								3
	化学物質の世界	1前・後		2								3
	自然と情報の数理	1前・後		2								6
	社会と情報の数理	1前		2								1
	技術の世界	1前		2								1
	材料の科学	1後		2								3
	生活の科学	1前・後		2								4
	コンピュータの話	1前		2								2
デザインと生物	1後		2								3	
小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	0	33	
医療・健康科学系	医療心理学	1前		2								1
	概説医療心理学	1前		1								1
	認知科学	1後		2								1
	脳科学入門	1後		2								2
	生命科学入門	1前		1								2
	免疫学入門	1前		2								2
	身近な医学	1後		2								1
	障害とアクセシビリティ	1前		2								1
	医療と地域社会	1後		2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	8	
総合科目系	環境	1前		2								2
	ジェンダー	1前・後		2								1
	技術と社会	1前・後		2								6
	現代文化	1後		2								1
	人権と福祉	1前・後		2								1
	環日本海	1前		2								1
	科学と社会	1前・後		2								3
	アカデミック・デザイン	1後		2								2
	ビジネス思考	1後		2								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	平和学入門	1前	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2							1
		新聞投稿に挑戦	1後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1後	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1前	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
		産業観光学	1後	2							1
		富山のものづくり概論	1前	2							1
		富山の地域づくり	1前	2							4
小計(29科目)	-	0	58	0	0	0	0	0	0	43	
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							12
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							10
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							11
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							10
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							7
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							9
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							7
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	平和学入門	1前	2							1
		東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後	2							1
		新聞投稿に挑戦	1後	2							1
		富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1前	2							1
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1後	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前・後	2							2
		産業観光学	1前	2							2
		富山のものづくり概論	1後	2							3
		富山の地域づくり	1後	2							3
小計(29科目)	-	0	58	0	0	0	0	0	0	37	
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							11
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							13
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							14
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							13
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							6
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							2
		フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系	フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							5	
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							5	
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							10	
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							10	
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							7	
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							7	
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1	
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2	
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2	
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1							1
		発展多言語演習中国語	2前		1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前		1							1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後		1							1		
日本語コミュニケーションⅢ	2前		1							1		
日本語リテラシーⅢ	2前		1							1		
日本語／専門研究	2後		1							1		
日本語／ビジネス	2後		1							1		
小計(36科目)			-	4	24	8	0	0	0	0	0	74
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1							8	
		1前・後		1							16	
		小計(2科目)			-	0	2	0	0	0	0	0
情報処理系	情報処理—A	1前	2								13	
		1後		2							4	
		小計(2科目)			-	2	2	0	0	0	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系	フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1							5	
		フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後	1							5	
		中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							10	
		中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							10	
		中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							7	
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							7	
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1	
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2	
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2	
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							3	
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1							1
		発展多言語演習中国語	2前		1							1
発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前		1							1		
発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後		1							1		
日本語コミュニケーションⅢ	2後		1							1		
日本語リテラシーⅢ	2前		1							1		
日本語／専門研究	2前・後		1							3		
日本語／ビジネス	2後		1							1		
小計(36科目)			-	4	24	8	0	0	0	0	0	78
保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1							8	
		1前・後		1							16	
		小計(2科目)			-	0	2	0	0	0	0	0
情報処理系	情報処理—A	1前・後	2							1	11	
		1後		2				1			4	
		小計(2科目)			-	2	2	0	1	0	0	1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1							
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1							
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2			1						
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1					7	
	インフラ材料	2①	2				1					1	
	デザイン思考基礎	2②	2			1							
	物質科学	2②	2									6	
	自然災害学	2③	2				1					1	
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1							
	モビリティデザイン	3①		2								1	
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1			4	
	インターンシップA	3②③		1			6						
	インターンシップB	3②③		2			6						
	地域デザインPBL	3③	1			2	2					6	
都市ブランドデザイン	3③		2								1		
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1						3		
小計(16科目)	-	-	17	12	0	7	6	0	1	0	19		
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2				1						
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1				
	線形代数Ⅰ	1①②	2				1						
	線形代数Ⅱ	1③④		2			1						
	力学	1①②	2				1						
	応用数学	2④		2			1						
小計(6科目)	-	-	6	6	0	0	5	0	1	0	-		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
学部共通科目	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2			1							
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2			1							
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2			1						
	都市デザイン学総論	1③④	2			4	1					7	
	インフラ材料	2①	2				1					1	
	デザイン思考基礎	2②	2			1							
	物質科学	2②	2									6	
	自然災害学	2③	2				1					1	
	デザインプレゼンテーション	2④		2		1							
	モビリティデザイン	3①		2								1	
	全学横断PBL	3②		1		3	2		1			4	
	インターンシップA	3②③		1			6						
	インターンシップB	3②③		2			6						
	地域デザインPBL	3③	1			2	2					6	
都市ブランドデザイン	3③		2								1		
科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			1						3		
小計(16科目)	-	-	17	12	0	7	6	0	1	0	19		
自然科学全般を理解するための基礎科目	微分積分Ⅰ	1①②	2				1						
	微分積分Ⅱ	1③④		2					1				
	線形代数Ⅰ	1①②	2				1						
	線形代数Ⅱ	1③④		2			1						
	力学	1①②	2				1						
	応用数学	2④		2			1						
小計(6科目)	-	-	6	6	0	0	5	0	1	0	-		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに幅広く関係する専門的学識	入門ゼミナール	1①②	2			3	3		1		
	都市と交通を支える建設技術の基礎知識		1①②	2			4					
	工学概論／土木・建築		1③④		2	8	6					
	プログラミング基礎		2②	2			1					
	プログラミング演習		2④		2		1					
	測量学及び実習		2③	1		1			1			
	グローバル・エンジニアへのいざない		3③④	2		9	6					
	職業指導		3④		2						1	
	小計(13科目)		-	9	2	14	9	6	0	2	0	1
	都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学		2①		2		3	2			
都市と交通の基礎理論			2④	2			1					
都市景観デザイン			2④		2		1		1			
都市デザイン史			3①		2		4	1		1		
都市のライフラインと建築設備			3③		2		1					
都市と建築の環境学			3③		2		1					
鉄軌道と道路			3④		2		2					
都市・交通情報通信			3④		2		1					
小計(8科目)		-	2	14	0	8	3	0	1	0	-	
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論		1①②		2						3	
	構造力学基礎		2①	2				1				
	地盤工学基礎		2①	2			1					
	水理・水工学基礎		2②	2			1					
	地球情報学		2②		2						1	
	設計製図Ⅰ		2③	2					1			
	設計製図Ⅱ		3②		2		1		1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震		2③		2		1	1				
	地盤工学の応用と建設施工		2③		2		1					
	水理・水工学の応用と河川・海岸		2④		2		1					
構造・材料実験		3①	1					1				
インフラ設計学		3①		2		2	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市・交通デザインに幅広く関係する専門的学識	入門ゼミナール	1①②	2			3	3		1		
	都市と交通を支える建設技術の基礎知識		1①②	2			4					
	工学概論／土木・建築		1③④		2	8	6					
	プログラミング基礎		2②	2			1					
	プログラミング演習		2④		2		1					
	測量学及び実習		2③	1			1			1		
	グローバル・エンジニアへのいざない		3③④	2			9	6				
	職業指導		3④		2						1	
	工学概論／電気電子		1②		2						2	
	工学概論／情報		1②		2						5	
	工学概論／機械		1②		2						8	
	工学概論／化学・生物		1②		2						8	
	工学概論／金属		2②		2						7	
小計(13科目)		-	9	2	14	9	6	0	2	0	31	
都市や交通の計画に関する専門的学識	都市・地域創生学		2①		2		3	2				
	都市と交通の基礎理論		2④	2			1					
	都市景観デザイン		2④		2		1		1			
	都市デザイン史		3①		2		4	1		1		
	都市のライフラインと建築設備		3③		2		1					
	都市と建築の環境学		3③		2		1					
	鉄軌道と道路		3④		2		2					
	都市・交通情報通信		3④		2		1					
小計(8科目)		-	2	14	0	8	3	0	1	0	-	
都市の建設や安全・安心に関する専門的学識	地球科学概論		1①②		2						3	
	構造力学基礎		2①	2				1				
	地盤工学基礎		2①	2			1					
	水理・水工学基礎		2②	2			1					
	地球情報学		2②		2						1	
	設計製図Ⅰ		2③	2					1			
	設計製図Ⅱ		3②		2		1		1			
	構造力学の応用と橋梁・耐震		2③		2		1	1				
	地盤工学の応用と建設施工		2③		2		1					
	水理・水工学の応用と河川・海岸		2④		2		1					
構造・材料実験		3①	1					1				
インフラ設計学		3①		2		2	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門	コンクリート構造	3①	2			1					
	地盤・水理実験	3②	1					1				
	アセットマネジメント	3②		2		1						
	防災と情報	3②		2			1					
	やってみようゼミナールA	3③		1			2		1			
やってみようゼミナールB	3④		1		2	2						
	小計(18科目)	-	10	22	0	5	5	0	2	0	3	
建築に関する専門的学識	建築論	1-2-3-4①②		2							1	
	建築と文化	1-2-3-4①②		2							1	
	人間工学概論	1-2-3-4①②		2							1	
	人と空間	1-2-3-4①②		2							1	
	生活と環境	1-2-3-4①②		2		1						
	まちづくり	1-2-3-4①②		2							1	
	建築製図	1-2-3-4①②		2							1	
	日本・東洋建築史	1-2-3-4①②		2							1	
	西洋建築史	1-2-3-4③④		2							1	
	近・現代建築意匠	1-2-3-4③④		2							1	
	建築計画	1-2-3-4③④		2							1	
	構造計画	1-2-3-4③④		2							1	
	建築生産	1-2-3-4③④		2							1	
	住居論	1-2-3-4③④		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2①②		2							3	
	空間デザインC(戸建住宅)	2③④		2							2	
	空間デザインD(集合住宅)	3①②		2							2	
	空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3③④		2							2	
	建築法規	3②		1							1	
	小計(19科目)	-	0	37	0	1	0	0	0	0	10	
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		
	小計(1科目)	-	10	0	0	9	6	0	0	0	15	
合計(191科目)			-	60	269	12	9	6	0	2	0	305

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	都市の建設や安全・安心に関する専門	コンクリート構造	3①	2			1					
	地盤・水理実験	3②	1					1				
	アセットマネジメント	3②		2		1						
	防災と情報	3②		2			1					
	やってみようゼミナールA	3③		1			2		1			
やってみようゼミナールB	3④		1		2	2						
	小計(18科目)	-	10	22	0	5	5	0	2	0	3	
建築に関する専門的学識	建築論	1-2-3-4①②		2							1	
	建築と文化	1-2-3-4①②		2							1	
	人間工学概論	1-2-3-4①②		2							1	
	人と空間	1-2-3-4①②		2							1	
	生活と環境	1-2-3-4①②		2		1						
	まちづくり	1-2-3-4①②		2							1	
	建築製図	1-2-3-4①②		2							1	
	日本・東洋建築史	1-2-3-4①②		2							1	
	西洋建築史	1-2-3-4③④		2							1	
	近・現代建築意匠	1-2-3-4③④		2							1	
	建築計画	1-2-3-4③④		2							1	
	構造計画	1-2-3-4③④		2							1	
	建築生産	1-2-3-4③④		2							1	
	住居論	1-2-3-4③④		2		1						
	空間デザインA(シェルター)	2①②		2							3	
	空間デザインC(戸建住宅)	2③④		2							2	
	空間デザインD(集合住宅)	3①②		2							2	
	空間デザインE(非木造の特殊建築物)	3③④		2							2	
	建築法規	3②		1							1	
	小計(19科目)	-	0	37	0	1	0	0	0	0	10	
卒業論文	卒業論文	4通	10			9	6	0	0	0		
	小計(1科目)	-	10	0	0	9	6	0	0	0	0	
合計(196科目)			-	60	269	22	9	6	0	2	0	310

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 20単位以上 [必修科目 17単位、選択科目 3単位以上を履修] (2)自然科学全般を理解するための基礎科目 6単位以上 [必修科目 6単位以上を履修] (3)専攻科目 65単位以上 [必修科目 21単位、選択科目 44単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1)学部共通科目 20単位以上 [必修科目 17単位、選択科目 3単位以上を履修] (2)自然科学全般を理解するための基礎科目 6単位以上 [必修科目 6単位以上を履修] (3)専攻科目 65単位以上 [必修科目 21単位、選択科目 44単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学
脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海
アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学
環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ
日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎/富山学/産業観光学/富山のものづくり概論
富山の地域づくり/発展多言語演習ラテン語Ⅰ/発展多言語演習ラテン語Ⅱ/ 健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。

【令和元年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／技術の世界／材料の科学／コンピュータの話／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会 環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学
時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情/芸術文化/日本事情/自然社会/学士力・人間力基礎/富山学
産業観光学/フランス語基礎Ⅰ/フランス語基礎Ⅱ/フランス語コミュニケーションⅠ/フランス語コミュニケーションⅡ/中国語基礎Ⅰ
中国語基礎Ⅱ/発展多言語演習ラテン語Ⅰ/発展多言語演習ラテン語Ⅱ/日本語コミュニケーションⅢ/日本語/専門研究
健康・スポーツ/講義/健康・スポーツ/実技/情報処理—A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
科学者・技術者倫理と知的財産
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
工学概論/電気電子/工学概論/情報/工学概論/機械/工学概論/化学・生物/工学概論/金属

【令和2年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／材料の科学／生活の科学／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会／環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学
とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情／芸術文化／日本事情／自然社会
学士力・人間力基礎／富山学／地域ライフプラン／産業観光学／富山の地域づくり／フランス語基礎Ⅰ／フランス語基礎Ⅱ
フランス語コミュニケーションⅠ／フランス語コミュニケーションⅡ／中国語基礎Ⅰ／中国語基礎Ⅱ／日本語リテラシーⅡ
日本語コミュニケーションⅠ／日本語リテラシーⅢ／日本語/専門研究／日本語/ビジネス／健康・スポーツ/講義
健康・スポーツ/実技/情報処理-A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 専攻科目における配当年次の変更
・教育効果を高めるため教育課程を見直し、以下の科目の配当年次を変更する。
「科学者・技術者倫理と知的財産」「都市ブランドデザイン」「都市と建築の環境学」「コンクリート構造」「職業指導」
「建築論」「建築と文化」「人間工学概論」「生活と環境」「まちづくり」「日本・東洋建築史」「建築計画」「構造計画」
「建築生産」「住居論」「空間デザインA(シェルター)」「空間デザインC(戸建住宅)」「空間デザインD(集合住宅)」
「空間デザインE(非木造の特殊建築物)」
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実験・実習科目の開講時期の変更
「データサイエンスII/多変量解析」「モビリティデザイン」「地盤・水理実験」「構造・材料実験」「やってみようゼミナールA」
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
工学概論/電気電子/工学概論/情報/工学概論/機械/工学概論/化学・生物/工学概論/金属

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	147 科目	10 科目	187 科目	30 科目 []	151 科目 [4]	15 科目 [5]	196 科目 [9]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{0}{187} = \boxed{} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²			
	運 動 場 用 地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²			
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²			
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²			
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²			
(2) 校 舎	専 用	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	- m ²	- m ²	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	ボイラー室及び動物飼育室撤去、特高受変電室及び厨房棟新築のため(2)		
	() m ²	() m ²	() m ²	() m ²	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	実験実習棟の竣工等のため(元) 第2大学食堂の増築等のため(30)		
(3) 教 室 等	講 義 室	131 133 室	演 習 室 242 237 室 217	実験実習室 676 671 室 630	情報処理学習施設 21 20 室 14 -13 (補助職員 12人)	語学学習施設 3 4 室 0 (補助職員 1人)	大学全体 担当事務職員配置換え及び教室の用途変更のため(2) 実験実習棟の竣工及び教員1名補充のため(元) 学生の修学環境を改善するため(30)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 都市デザイン学部		室 数 48 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 新規受入、図書の整理のため(2)(元) (30)
			電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	都市デザイン学部	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0	
計	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0		
	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環境整備のため(2) (元)(30) 【収納可能冊数】書架を購入して、書棚を増やしたため、収納できる冊数が増加した(30)	
	13,855 m ²		1,512 1,502 1,566 1,567		1,056,750 1,043,783			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プール・テニスコート					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	170	14	709	-	1.03	1.05	-	昭和52	-	
人文学科	4	170	3年次 7	709	学士 (文学)	1.03	1.05	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(△15)
人間発達科学部	4	170	-	680	-	1.04	1.04	-	平成17	-	
発達教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	1.05	1.06	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士 (教育学)	1.03	1.02	-	平成17	同上	
経済学部	4	335	20	1,430	-	-	-	平成30	昭和28	-	
(昼間主コース)	4	305	20	1,280		1.02	1.02				
経済学科	4	120	3年次 4	364	学士 (経済学)	1.04	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経済学科	4	-	3年次 4	139	学士 (経済学)	-	-	-	昭和28	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	100	3年次 4	304	学士 (経営学)	1.01	1.04	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	3年次 4	119	学士 (経営学)	-	-	-	昭和49	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	85	3年次 2	257	学士 (法学)	1.01	1.02	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	3年次 2	97	学士 (法学)	-	-	-	昭和54	同上	平成30年より学生募集停止
(夜間主コース)	4	30	-	150		1.03	1.10				
経済学科	4	10	-	30	学士 (経済学)	1.10	1.20	平成30	平成30	同上	
経済学科	4	-	-	20	学士 (経済学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	10	-	30	学士 (経営学)	1.03	1.10	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	-	20	学士 (経営学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	10	-	30	学士 (法学)	1.00	1.00	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	-	20	学士 (法学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止

理学部	4	190	8	808	-	1.03	1.03	-	昭和52	-	
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.02	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	3年次 1	162	学士 (理学)	1.03	1.05	-	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
生物学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	40	学士 (理学)	-	-	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	3年次 1	122	学士 (理学)	1.05	1.00	-	平成5	同上	
医学部	-	185	45	995	-	-	-	-	昭和50	-	
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	1.00	平成30	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成5	同上	
薬学部	-	105	-	530	-	-	-	-	昭和24	-	
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.03	1.00	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.06	1.08	-	平成18	同上	
工学部	4	365	40	1,537	-	1.02	1.02	平成30	昭和24	-	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
工学科	4	365	3年次17	1,112	学士 (工学)	1.02	1.02	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	3年次 20 (各学科 共通)	88	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-		72	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-		90	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-		51	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
芸術文化学部	4	110		-	445	-	1.03	1.01	-	平成17	-
芸術文化学科	4	110	-	445	学士 (芸術文化 学)	1.03	1.01	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地	定員変更(△5)
都市デザイン学部	4	140	-	423	-	1.04	1.04	平成30	平成30	-	
地球システム科学科	4	40	-	120	学士 (理学)	1.02	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	3年次 1	121	学士 (工学)	1.03	1.02	平成30	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	3年次 2	182	学士 (工学)	1.06	1.08	平成30	平成30	同上	
大学全体	-	1,770	127	7,557	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	富山大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
人文科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	1.06	1.12	-	昭和61	-	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	1.12	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学研究科 (修士課程)	2	12	-	24	-	1.08	0.91	-	平成23	-	
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.66	0.66	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.49	1.16	-	平成23	同上	
経済学研究科 (修士課程)	2	18	-	36	-	0.85	0.77	-	平成3	-	
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	0.91	0.66	-	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.83	0.83	-	平成3	同上	
芸術文化科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	0.87	0.87	-	平成23	-	
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化 学)	0.87	0.87	-	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
生命融合科学教育部 (博士課程)	-	17	-	60	-	-	-	-	平成18	-	
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.71	0.44	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.58	0.75	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.50	0.25	-	平成18	同上	

医学薬学教育部	-	106	-	281	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	15	-	30		0.26	0.13				
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.26	0.13	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
(博士前期課程)	2	51	-	102		1.16	1.03				
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.40	0.37	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.51	1.34	-	平成22	同上	
(博士後期課程)	3	11	-	33		1.06	1.00				
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.11	1.00	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.04	1.00	-	平成24	同上	
(博士課程)	-	29	-	116		0.72	0.68				
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.96	0.88	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.35	0.57	-	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.31	0.00	-	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
理工学教育部	-	233	-	482	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	217	-	434		1.23	1.17				
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	0.62	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.04	0.75	-	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.20	1.08	-	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.29	1.25	-	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	1.00	-	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.80	0.80	-	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.24	1.06	-	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.25	1.14	-	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.45	1.60	-	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.52	1.33	-	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.04	1.09	-	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.35	1.45	-	平成24	同上	

(博士課程)	3	16	-	48		1.14	1.18			
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.20	1.80	-	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.66	1.50	-	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.99	0.66	-	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	0.50	-	平成18	同上
教職実践開発研究科 (専門職学位課程)	2	14	-	28	-	0.92	0.92	-	平成28	-
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.92	0.92	-	平成28	富山県富山市五福3190番地
大学院全体	-	416	-	943	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>	専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>	専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>	専	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月>
		コンピュータの話 情報処理A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文			データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文			データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文			コンピュータの話 情報処理A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・交通情報通信 卒業論文
専	教授	原 隆史 <平成30年4月>	専	教授	原 隆史 <平成30年4月>	専	教授	原 隆史 <平成30年4月>	専	教授	原 隆史 <平成30年4月>
		入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文			入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文			入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文			入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 地盤工学基礎 地盤工学の応用と建設施工 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	本田 豊 <平成30年4月>	専	教授	本田 豊 <平成30年4月>	専	教授	本田 豊 <平成30年4月>	専	教授	本田 豊 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文			都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文			都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文			都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 鉄軌道と道路 アセットマネジメント 卒業論文
専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>	専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>	専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>	専	教授	木村 一郎 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文			都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文			都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文			都市デザイン学総論 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 水理・水工学基礎 水理・水工学の応用と河川・海岸 やってみようゼミナールB 卒業論文
専	教授	中川 大 <平成30年4月>	専	教授	中川 大 <平成30年4月>	専	教授	中川 大 <平成30年4月>	専	教授	中川 大 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文			都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文			都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文			都市デザイン学総論 地域デザインPBL 入門ゼミナール 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 測量学及び実習 グローバル・エンジニアへのいざない 都市と交通の基礎理論 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
		久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
		堀 祐治 <平成30年4月> 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
		鈴木 康夫 <平成30年4月> インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
		久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
		堀 祐治 <平成30年4月> 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
		鈴木 康夫 <平成30年4月> インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
		久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
		堀 祐治 <平成30年4月> 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
		鈴木 康夫 <平成30年4月> インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市デザイン史 鉄軌道と道路 卒業論文
		久保田 善明 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 都市と交通を支える建設技術の基礎知識 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅱ 構造力学の応用と橋梁・耐震 インフラ設計学 卒業論文
専	教授	矢口 忠憲 <平成30年4月> デザイン思考基礎 デザインプレゼンテーション 全学横断PBL グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文
		堀 祐治 <平成30年4月> 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市のライフラインと建築設備 都市と建築の環境学 やってみようゼミナールB 生活と環境 住居論 卒業論文
専	准教授	河野 哲也 <平成30年4月> インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 力学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市デザイン史 インフラ設計学 コンクリート構造 やってみようゼミナールB 卒業論文
		鈴木 康夫 <平成30年4月> インターンシップA インターンシップB 応用数学 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 構造力学基礎 構造力学の応用と橋梁・耐震 やってみようゼミナールA 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>	専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>	専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>	専	准教授	井ノ口 宗成 <平成30年4月>
		自然災害学 インターンシップA インターンシップB 線形代数Ⅱ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 防災と情報 やってみようゼミナールB 卒業論文			自然災害学 インターンシップA インターンシップB 線形代数Ⅱ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 防災と情報 やってみようゼミナールB 卒業論文			自然災害学 インターンシップA インターンシップB 線形代数Ⅱ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 防災と情報 やってみようゼミナールB 卒業論文			
専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>	専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>	専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>	専	准教授	高柳(中塚) 百合子 <平成30年4月>
		全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 微分積分Ⅰ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 卒業論文			全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 微分積分Ⅰ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 卒業論文			全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 微分積分Ⅰ 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 卒業論文			
専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>	専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>	専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>	専	准教授	猪井 博登 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 線形代数Ⅰ 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 やってみようゼミナールA 卒業論文			都市デザイン学総論 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 線形代数Ⅰ 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 やってみようゼミナールA 卒業論文			都市デザイン学総論 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 線形代数Ⅰ 入門ゼミナール 工学概論/土木・建築 グローバル・エンジニアへのいざない 都市・地域創生学 やってみようゼミナールA 卒業論文			
専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>	専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>	専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>	専	准教授	春木 孝之 <平成30年4月>
		データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎 インターンシップA インターンシップB 工学概論/土木・建築 プログラミング基礎 プログラミング演習 グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文			データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎 インターンシップA インターンシップB 工学概論/土木・建築 プログラミング基礎 プログラミング演習 グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文			データサイエンスⅢ/ビッグデータ解析基礎 インターンシップA インターンシップB 工学概論/土木・建築 プログラミング基礎 プログラミング演習 グローバル・エンジニアへのいざない 卒業論文			
専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>	専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>	専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>	専	助教	竜田 尚希 <平成30年4月>
		微分積分Ⅱ 入門ゼミナール 構造・材料実験 地盤・水理実験 やってみようゼミナールA			微分積分Ⅱ 入門ゼミナール 構造・材料実験 地盤・水理実験 やってみようゼミナールA			微分積分Ⅱ 入門ゼミナール 構造・材料実験 地盤・水理実験 やってみようゼミナールA			
専	助教	阿久井 康平 <平成30年4月>	専	助教	阿久井 康平 <平成30年4月>	専	助教	阿久井 康平 <平成30年4月>	兼任 講師	専	阿久井 康平 <平成30年4月>
		全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ			全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ			全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 都市デザイン史 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ			都市デザイン史

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	石崎 泰男 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	清水 正明 <平成30年4月> 地球科学概論
兼担	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	楠本 成寿 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	安永 数明 <平成30年4月> 科学と社会 自然災害学
兼担	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月> 地球と環境 日本海学 地球科学概論
兼担	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼担	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	教授	星野 一宏 <平成30年4月> 生命の世界
兼担	教授	才川 清二 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	石崎 泰男 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	清水 正明 <平成30年4月> 地球科学概論
兼担	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	楠本 成寿 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	安永 数明 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月> 地球科学概論
兼担	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼担	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	教授	才川 清二 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼担	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	安永 数明 <平成30年4月> 自然災害学
兼担	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月> 地球科学概論
兼担	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL 工学概論/金属
兼担	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/金属
兼担	教授	才川 清二 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL 工学概論/金属

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		王 永成 (※) <令和2年6月> 全学横断PBL 測量学及び実習 都市景観デザイン 設計製図Ⅰ 設計製図Ⅱ ※AC教員審査中
兼担	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学 地球科学概論
兼担	教授	安永 数明 <平成30年4月> 科学と社会 自然災害学
兼担	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月> 地球科学概論
兼担	教授	西村 克彦 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL 工学概論/金属
兼担	教授	佐伯 淳 <平成30年4月> 材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/金属
兼担	教授	才川 清二 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 地域デザインPBL 工学概論/金属

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン まちづくり
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		人と空間 建築計画 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		技術と社会
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		物質科学
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン まちづくり
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		人と空間 建築計画 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		技術の世界

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL 工学概論/金属
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		工学概論/機械
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学 工学概論/金属
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL 工学概論/金属
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン まちづくり
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		美術 建築論 建築と文化 日本・東洋建築史 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		人と空間 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		工学概論/電気電子

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	松田 健二 <平成30年4月>
		技術と社会 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL 工学概論/金属
兼任	教授	會田 哲夫 <平成30年4月>
		工学概論/機械
兼任	教授	小野 英樹 <平成30年4月>
		都市デザイン学総論
兼任	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		物質科学 工学概論/金属
兼任	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 地域デザインPBL 工学概論/金属
兼任	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	教授	武山 良三 <平成30年4月>
		都市ブランドデザイン
兼任	教授	松政 貞治 <平成30年4月>
		美術 建築論 建築と文化 西洋建築史 近・現代建築意匠
兼任	教授	内田 和美 <平成30年4月>
		モビリティデザイン
兼任	教授	上原 雄史 <平成30年4月>
		美術 人と空間 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	教授	大氏 正嗣 <平成30年4月>
		構造計画
兼任	教授	大路 貴久 <平成30年4月>
		工学概論/電気電子

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	講師	柴田 啓司 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A 日本語/専門研究
兼担	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼担	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化- 産業と経済を学ぶ
兼担	教授	松井 隆幸 <平成30年4月> 人権と福祉

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A 日本語/専門研究
兼担	教授	手崎 衆 <平成30年4月> 技術の世界
兼担	教授	酒井 富夫 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ
兼担	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼担	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> アカデミック・デザイン
兼担	教授	小川 晃一 <平成30年4月> 情報処理-A
兼担	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼担	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化- 産業と経済を学ぶ
兼担	教授	松井 隆幸 <平成30年4月> 環日本海
兼担	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生命の世界
兼担	教授	上山 輝 <平成30年4月> 美術

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A
兼担	教授	秋月 有紀 <平成31年4月> 生活の科学
兼担	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼担	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼担	教授	小川 亮 <平成31年4月> 応用情報処理
兼担	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼担	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化-

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A
兼担	教授	手崎 衆 <平成30年4月> 技術と社会
兼担	教授	酒井 富夫 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ
兼担	教授	秋月 有紀 <平成31年4月> 生活の科学
兼担	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼担	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼担	教授	小川 亮 <平成31年4月> 応用情報処理
兼担	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼担	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化- はじめての経済学
兼担	教授	小林 かおり <令和2年4月> 物理の世界
兼担	教授	小林 真 <令和2年4月> こころの科学
兼担	教授	松井 隆幸 <平成30年4月> 環日本海 現代文化
兼担	教授	松田 恒平 <平成30年4月> 生命の世界
兼担	教授	上山 輝 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	上田 理恵子 <令和2年4月> 日本国憲法 経済生活と法 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	森岡 裕 <平成30年4月> 市場と企業の関係 環日本海
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月> 経営資源のとらえ方
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月> 日本文学
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	新夕 義典 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	新里 泰孝 <平成30年4月> 富山から考える震災・復興学
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月> 脳科学入門
兼任	教授	森賀 一恵 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月> 経営資源のとらえ方
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月> 日本文学
兼任	教授	青木 恭子 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	倉光 英樹 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月> 脳科学入門
兼任	教授	森賀 一恵 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月> 日本文学
兼任	教授	青木 一益 <平成31年4月> 国家と市民
兼任	教授	青木 恭子 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ
兼任	教授	石川 秀明 <平成31年4月> 自然と情報の数理
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	前澤 宏一 <平成31年4月> 物理の世界
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	森 寿 <平成30年4月> 脳科学入門
兼任	教授	森賀 一恵 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	森口 毅彦 <平成30年4月> 経営資源のとらえ方
兼任	教授	成瀬 喜則 <平成30年4月> 情報処理Ⅰ-A
兼任	教授	西田谷 洋 <平成30年4月> 日本文学
兼任	教授	青木 一益 <平成31年4月> 国家と市民 現代社会論
兼任	教授	青木 恭子 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ 西洋の歴史と社会
兼任	教授	赤尾 千波 <平成30年4月> 外国文学
兼任	教授	千田 恭子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	大工原 ちなみ <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月> デザインと生物
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月> 経済生活と法
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	准教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大坪 史尚 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	池田 真行 <平成30年4月> デザインと生物
兼任	教授	池本 弘之 <平成30年4月> 物理の世界
兼任	教授	竹村 哲 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	竹地 潔 <平成30年4月> 経済生活と法
兼任	教授	中井 精一 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ アカデミック・デザイン

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	竹村 卓 <平成31年4月> 現代社会論
兼任	教授	竹地 潔 <平成30年4月> 経済生活と法
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月> 経済生活と法
兼任	教授	中村 和之 <平成31年4月> はじめての経済学 学士力・人間力基礎
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ アカデミック・デザイン
兼任	教授	鳥羽 達郎 <平成31年4月> 市場と企業の関係

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大森 清人 <平成30年4月> ビジネス思考
兼任	教授	大西 宏治 <平成30年4月> 富山の地域づくり 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	大川 信行 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義
兼任	教授	大野 圭介 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	谷井 一郎 <平成30年4月> 生命科学入門
兼任	教授	竹村 哲 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	中井 精一 <平成30年4月> 言語と文化
兼任	教授	中出 孝典 <平成30年4月> 経済生活と法
兼任	教授	中村 和之 <平成31年4月> 学士力・人間力基礎
兼任	教授	中島 淑恵 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法 市民生活と法 医療と地域社会
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
		英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 万葉学
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	會澤 宣一 <平成30年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	講師	木原 淳 <平成30年4月>
		日本国憲法
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月>
		経済生活と法 市民生活と法
兼任	教授	龍 世祥 <平成30年4月>
		産業と経済を学ぶ 環境
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月>
		英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月>
		経済生活と法 市民生活と法
兼任	教授	林 直人 <平成31年4月>
		化学物質の世界
兼任	教授	鈴木 基史 <平成31年4月>
		経営資源のとりえ方
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		日本の歴史と社会 万葉学
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	澤田 稔 <平成31年4月>
		東洋の歴史と社会
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	名執 基樹 <平成30年4月>
		ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月>
		環境と安全管理 科学と社会
兼任	教授	鈴木 景二 <平成30年4月>
		万葉学
兼任	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月>
		人権と福祉
兼任	教授	和田 直也 <平成30年4月>
		日本海学
兼任	教授	濱田 美和 <平成30年4月>
		日本事情/芸術文化 日本事情/自然社会 日本語/ビジネス

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地球と環境 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月> 物理の世界
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 材料の科学 物質科学
兼任	准教授	吉田 正道 <平成30年4月> 技術の世界
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 空間デザインA(シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎I 中国語基礎II
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 材料の科学 物質科学
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 空間デザインA(シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎I 中国語基礎II
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 物質科学 工学概論/金属
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 空間デザインA(シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	准教授	高松 衛 <平成31年4月> 生活の科学 工学概論/情報

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎I 中国語基礎II
兼任	特命教授	船橋 伸一 <令和2年4月> 英語コミュニケーションII-A
兼任	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼任	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL 地球情報学
兼任	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼任	准教授	畠山 賢彦 <平成30年4月> 材料の科学 物質科学 工学概論/金属
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <平成30年4月> 美術 空間デザインA(シェルター)
兼任	准教授	河原 雅典 <平成30年4月> 人間工学概論
兼任	准教授	横山 天心 <平成30年4月> 建築製図 空間デザインA(シェルター) 空間デザインC(戸建住宅) 空間デザインD(集合住宅) 空間デザインE(非木造の特殊建築物)
兼任	准教授	高松 衛 <平成31年4月> 工学概論/情報

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
						兼任	講師	要門 美規 <平成31年10月> 日本語コミュニケーションⅢ			
			兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ
			兼任	講師	高島 彬 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増 ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」 ・秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」 ・根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」 ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更 ・上記以外の教養教育科目における変更

【令和元年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増 ・徳永 洋介／澤田 稔「東洋の歴史と社会」 ・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」 ・鈴木 晃志郎／山根 拓「地域の経済と社会・文化」 ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更 ・上記以外の教養教育科目における変更
○平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増 ・大路貴久、中茂樹「工学概論／電気電子」 ・長谷川英之、高松衛、参沢匡将、田端俊英、稻積泰宏「工学概論／情報」 ・木田勝之、小熊規泰、川口清司、木村弘之、神代充、笹木亮、瀬田剛、會田哲夫「工学概論／機械」 ・黒澤信幸、伊野部智由、中路正、宮崎章、堀野良和、米山嘉治、岩永進太郎、劉貴慶「工学概論／化学・生物」 ・西村克彦、松田健二、才川清二、佐伯淳、砂田聡、柴柳敏哉、畠山賢彦「工学概論／金属」

【令和2年度】

○教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増 ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」 ・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／八百 章嘉「国家と市民」 ・鈴木 晃志郎／大西 宏治「地域の経済と社会・文化」 ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
○教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更 ・上記以外の教養教育科目における変更
○教養教育科目における担当教員職位変更 ・伊藤 智樹：准教授→教授 ・武田 昭文：准教授→教授
○平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増 ・大路貴久、中茂樹「工学概論／電気電子」 ・長谷川英之、高松衛、参沢匡将、田端俊英、「工学概論／情報」 ・木田勝之、小熊規泰、川口清司、木村弘之、神代充、笹木亮、瀬田剛、會田哲夫「工学概論／機械」 ・黒澤信幸、伊野部智由、中路正、宮崎章、堀野良和、米山嘉治、岩永進太郎、劉貴慶「工学概論／化学・生物」 ・西村克彦、松田健二、才川清二、佐伯淳、砂田聡、柴柳敏哉、畠山賢彦「工学概論／金属」
○専攻科目におけ担当教員の変更 ・専任教員変更による担当教員の変更（令和2年教員審査中） 王 永世「全学横断PBL」「測量学及び実習」「都市景観デザイン」「設計製図Ⅰ」「設計製図Ⅱ」 ・上記以外の専攻科目における担当教員の変更

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
9	6	0	2	17	0	9	6	0	1	16	0
(9)	(6)	(0)	(2)	(17)	[]						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	6	0	2	17	0	9	6	0	2	17	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		(該当なし)								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	阿久井 康平	R2.3	選択	全学横断PBL	①※	R2.3.31付け他大学へ転出のため辞任 (R2) ※後任の専任教員は現在AC教員審査中			
				必修	測量学及び実習	①※				
				選択	都市景観デザイン	①※				
				選択	都市デザイン史	①※				
				必修	設計製図Ⅰ	①※				
				選択	設計製図Ⅱ	①※				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		(該当なし)								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当科目等開講の継続性を維持するため、後任として新たに専任教員(助教)を採用し、対応する。(当該教員はAC教員審査中)
 阿久井助教が担当していた科目は後任の専任教員が担当し、学部の設置計画には支障はない。ただし、「都市デザイン史」は後任の専任教員就任前に開講されるため、令和2年度においては非常勤講師が担当する。
 なお、学生には開講年度のシラバス等において担当教員名を周知する。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 都市・交通デザイン学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
○学位の英語名称 学士（工学） 「Bachelor of Civil Engineering」	学内において授与する学位名称の整合性を図るため、 学位の英語名称を以下のとおり変更する。 学士（工学） 「Bachelor of Engineering」

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制 a 委員会の設置状況 ・富山大学都市デザイン学部教授会を設置 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） ・富山大学都市デザイン学部教授会 定例：毎月第3水曜日に開催（4/20-22開催（メール会議） 構成員49人中49人出席） ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 定例：教授会開催日前週の月曜日に開催（4/13開催 構成員9人中9人出席） 臨時：随時（4/28-5/1開催（メール会議） 構成員9人中9人出席） ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 随時開催 c 委員会の審議事項等 ・富山大学都市デザイン学部教授会 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部運営委員会 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項 ・富山大学都市デザイン学部FD委員会 教育内容及び教育方法の改善に関する事項 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項

② 実施状況

a 実施内容

- ・入試内容の評価・検討
- ・学生授業アンケートの実施・分析
- ・教育研究指導體制の検討
- ・FD研修会及び講演会の開催

b 実施方法

- ・学部教授会及び学部運営委員会において実施概要について議論を行う。
- ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・令和元年度は2回のFDを開催し、学部教員は延べ82人が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・年4回実施（実施時期：6月、8月、11月及び2月、1～4タームの各授業終了期）

b 教員や学生への公開状況，方法等

- ・教員には担当授業に係る集計を情報提供
- ・アンケート集計結果については、本学ウェブサイトにおいて、学生を始め、学外に対し公表することとしている

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>令和2年度は、A0入試12名（志願者29名）、特別入試5名（同22名）、一般入試前期日程14名（同48名）及び後期日程10名（同79名）と平成31年度と同数の計41名が入学した。一方、退学者1名と転学部（転出）1名で在学者数は122名となった。</p> <p>施設整備においては、新たに実験実習棟が完成し、講義や実験実習はもちろん、学生の自主的な研究や教員の研究に幅広く活用されている。教育・研究環境の整備は計画通りに進行している。</p> <p>また、「全学横断PBL」の全学展開のためのシンポジウム開催、PBLをサポートする協議会による「まちなかサテライトキャンパス」の実施を通して、大学と地域が連携する教育プログラムの基礎をつくってきた。概ね満足 of いく目的達成状況であるといえる。</p> <p>今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け引き続き取り組んでいく。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・ 未定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・ 大学ホームページ上に公開予定</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・ 令和5年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）</p> <p>a 公表予定の有無 [<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無]</p> <p>≪ aで「有」の場合 ≫</p> <p>b 公表（予定）時期 [<input checked="" type="radio"/> 調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]</p> <p>c 公表方法 [<input checked="" type="radio"/> ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]</p> <p>≪ aで公表「無」の場合 ≫</p> <p>d 公表しない理由 []</p>
--

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 富山大学

(2) 大学名

富山大学

(3) 大学の位置

〒930-8555
富山県富山市五福3190番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(エンドウ シュンロウ) 遠藤 俊郎 (平成23年4月)	(サイトウ シゲル) 齋藤 滋 (平成31年4月)	任期満了のため 平成31年4月1日 (元)
学部長	(ワタナベ トオル) 渡邊 了 (平成30年4月)		
学科長 (材料デザイン工学科)	(サイキ アツシ) 佐伯 淳 (平成30年4月)	(オノ ヒデキ) 小野 英樹 (令和2年4月)	任期満了のため 令和2年4月1日 (2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
 (例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
 令和2年度に報告する内容 → (2)
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
都市デザイン学部 材料デザイン工学科 学士(工学)	工学関係	4年	60人	3年次 2人	244人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考				
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期							
A 入学定員	60人	—人	(—)	[—]	60人	—人	(—)	[—]	60人	—人	(2)	[—]	()	[]	1.06倍	—	
志願者数	256	—	(—)	[3]	390	—	(—)	[2]	535	—	(1)	[2]	()	[]			
受験者数	213	—	(—)	[2]	297	—	(—)	[1]	392	—	(1)	[2]	()	[]			
合格者数	74	—	(—)	[2]	72	—	(—)	[1]	83	—	(1)	[2]	()	[]			
B 入学者数	66	—	(—)	[2]	61	—	(—)	[1]	65	—	(1)	[2]	()	[]			
入学定員超過率 B/A	1.10		1.01		1.10												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	66 [2] (-)	— [—] (-)	72 [1] (11)	— [—] (-)	69 [2] (4)	— [—] (-)	[]	[]	[]	[]	3年次編入学生 1
2年次	/		55 [2] (-)	— [—] (-)	63 [1] (6)	— [—] (-)	[]	[]	[]	[]	
3年次	/		/		55 [2] (-)	— [—] (-)	[]	[]	[]	[]	
4年次	/		/		/		[]	[]	[]	[]	
計	66 [2] (-)		127 [3] (11)		187 [5] (10)		[]	[]	[]	[]	

・令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	66 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	127 人	6 人	平成30年度	4 人	0 人	・就学意欲の低下(2人) ・転学部(2人)
			令和元年度	2 人	0 人	・就学意欲の低下(1人) ・転学部(1人)
令和2年度	187 人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		6 人				

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{66} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{127} = \boxed{4.72} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{187} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								1
	人間と倫理	1前・後		2								1
	こころの科学	1前・後		2								1
	現代と教育	1前・後		2								1
	日本の歴史と社会	1前・後		2								2
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								1
	日本文学	1前・後		2								1
	外国文学	1前・後		2								1
	言語と文化	1前・後		2								1
	音楽	1前・後		2								1
	美術	1前・後		2								1
	言語表現	1前・後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション	1前・後		2								1
異文化理解	1前・後		2								1	
小計(15科目)		-	0	30	0	0	0	0	0	0	0	-
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								1
	日本国憲法	1前・後		2								1
	経済生活と法	1前・後		2								1
	市民生活と法	1前・後		2								1
	はじめての経済学	1前・後		2								1
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								1
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								1
	市場と企業の関係	1前・後		2								1
	小計(8科目)		-	0	16	0	0	0	0	0	0	0

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系											
	哲学のすすめ	1前・後		2								2
	人間と倫理	1前・後		2								2
	こころの科学	1前・後		2								4
	現代と教育	1前・後		2								8
	日本の歴史と社会	1前・後		2								3
	東洋の歴史と社会	1前		2								1
	西洋の歴史と社会	1前・後		2								5
	日本文学	1前・後		2								6
	外国文学	1前・後		2								3
	言語と文化	1前・後		2								4
	音楽	1前・後		2								2
	美術	1前・後		2								14
	言語表現	1後		2								1
	治療の文化史	1前・後		2								1
	異文化間コミュニケーション	1後		2								1
異文化理解	1前		2								1	
小計(16科目)		-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	57
社会科学系	現代社会論	1前・後		2								4
	日本国憲法	1前・後		2								3
	国家と市民	1前・後		2								4
	経済生活と法	1前・後		2								5
	市民生活と法	1前・後		2								4
	はじめての経済学	1前・後		2								5
	産業と経済を学ぶ	1前・後		2								4
	経営資源のとらえ方	1前・後		2								3
	市場と企業の関係	1前・後		2								2
	地域の経済と社会・文化	1前・後		2								2
小計(10科目)		-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	33

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	自然科学系	地球と環境	1前・後	2							6
		生命の世界	1前・後	2		1					1
		物理の世界	1前・後	2		1	1				
		化学物質の世界	1前・後	2							2
		自然と情報の数理	1前・後	2							1
		社会と情報の数理	1前・後	2							1
		技術の世界	1前・後	2			1				1
		材料の科学	1前・後	2		2	1				
		生活の科学	1前・後	2							1
		コンピュータの話	1前・後	2							2
		デザインと生物	1前・後	2							1
小計(11科目)	-	0	22	0	5	3	0	0	0	-	
医療・健康科学系	医療心理学	1前・後	2							1	
	概説医療心理学	1前・後	1							1	
	認知科学	1前・後	2							1	
	脳科学入門	1前・後	2							1	
	生命科学入門	1前・後	1							2	
	免疫学入門	1前・後	2							1	
	身近な医学	1前・後	2							1	
	障害とアクセシビリティ	1前・後	2							1	
	医療と地域社会	1前・後	2							2	
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	-	
総合科目系	環境	1前・後	2							1	
	ジェンダー	1前・後	2							1	
	技術と社会	1前・後	2							2	
	現代文化	1前・後	2							1	
	人権と福祉	1前・後	2							1	
	環日本海	1前・後	2							1	
	科学と社会	1前・後	2							1	
	アカデミック・デザイン	1前・後	2							1	
	ビジネス思考	1前・後	2							1	
	平和学入門	1前・後	2							1	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前・後	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	自然科学系	地球と環境	1前・後	2							3
		生命の世界	1前・後	2							4
		物理の世界	1前・後	2							2
		化学物質の世界	1前・後	2							3
		自然と情報の数理	1前・後	2							6
		社会と情報の数理	1前	2							1
		技術の世界	1前・後	2							3
		材料の科学	1後	2		1	1				1
		生活の科学	1前	2							2
		コンピュータの話	1前・後	2							2
		デザインと生物	1後	2							2
小計(11科目)	-	0	22	0	1	1	0	0	0	29	
医療・健康科学系	医療心理学	1前	2							1	
	概説医療心理学	1前	1							1	
	認知科学	1後	2							1	
	脳科学入門	1後	2							2	
	生命科学入門	1前	1							2	
	免疫学入門	1前	2							1	
	身近な医学	1後	2							1	
	障害とアクセシビリティ	1前	2							1	
	医療と地域社会	1後	2							1	
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	7	
総合科目系	環境	1前	2							2	
	ジェンダー	1前・後	2							1	
	技術と社会	1前・後	2			1			1	8	
	現代文化	1後	2							1	
	人権と福祉	1前・後	2							1	
	環日本海	1前	2							2	
	科学と社会	1前・後	2							10	
	アカデミック・デザイン	1後	2							1	
	ビジネス思考	1後	2							1	
	平和学入門	1前	2							1	
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後	2							1		
新聞投稿に挑戦	1後	2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	富山から考える震災・復興学	1前・後	2							1
		環境と安全管理	1前・後	2							1
		万葉学	1前・後	2							1
		日本海学	1前・後	2							1
		富山大学学	1前・後	2							1
		とやま地域学	1前・後	2							1
		時事的問題	1前・後	2							1
		災害救援ボランティア論	1前・後	2							1
		感性をはぐくむ	1前・後	2							1
		日本事情／芸術文化	1前・後	2							1
		日本事情／自然社会	1前・後	2							1
		学士力・人間力基礎	1前・後	2							1
		富山学	1前・後	2							3
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
		産業観光学	1前・後	2							3
		富山のものづくり概論	1前・後	2			1				3
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
小計(28科目)		-	0	56	0	1	0	0	0	0	22
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							7
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							7
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							7
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							7
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							1
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1前	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1後	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前	2							3
		産業観光学	1後	2							2
		富山のものづくり概論	1前・後	2			1				3
富山の地域づくり	1前	2							4		
小計(29科目)		-	0	58	0	1	0	0	0	0	45
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							11
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							15
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							14
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							6
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							2
		フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							3
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1							5
		フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後	1							5
		中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							10
		中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							1
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							1
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1
		日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1
	日本語リテラシーⅢ	2前		1						1	
	日本語／専門研究	2後		1						1	
	日本語／ビジネス	2後		1						1	
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	19
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1前・後	1							1
		健康・スポーツ／実技	1前	1							1
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	1
情報処理系	情報処理—A	1前	2					1		3	
	応用情報処理	1後	2		1						
	小計(2科目)	-	2	2	0	1	0	0	1	0	3
(学部共通科目)	データサイエンスⅠ／確率統計	1②	2							1	
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2①	2							1	
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2							1	
	都市デザイン学総論	1③④	2			6				6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	外国語系	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							5
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							1
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							1
		日本語リテラシーⅡ	2後	1							1
		日本語コミュニケーションⅠ	2前	1							1
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1						1
		発展多言語演習中国語	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	2前		1						1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	2後		1						1
		日本語コミュニケーションⅢ	2前		1						1
	日本語リテラシーⅢ	2後		1						1	
	日本語／専門研究	1前		1						3	
	日本語／ビジネス	1後		1						1	
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	71
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後	1							8
		健康・スポーツ／実技	1前・後	1							16
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	17
情報処理系	情報処理—A	1前・後	2						1	12	
	応用情報処理	1後	2		1					4	
	小計(2科目)	-	2	2	0	1	0	0	1	0	14
(学部共通科目)	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2							1	
	データサイエンスⅡ／多変量解析	2④	2							1	
	データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①	2							1	
	都市デザイン学総論	1③④	2			6				6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(問題解決能力・デザイン思考)	インフラ材料	2①	2			1					1
	物質科学	2②	2			3	1				2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	自然災害学	2③	2								2
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3①		2							1
	全学横断PBL	3②		1		2					8
	インターンシップA	3②③		1		9	5				
	インターンシップB	3②③		2		9	5				
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
	都市ブランドデザイン	3③		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			2					2
小計(16科目)	-	15	14	0	9	5	0	0	0	24	
(自然科学に関わる基礎学力)	入門ゼミナール	1①②		2		9	5		1		
	無機化学	1①②		2			1				
	力学	1①②		2			1				
	微分積分 I	1①②		2			1				
	微分積分 II	1③④		2		1					
	線形代数 I	1①②		2		1					
	線形代数 II	1③④		2		1					
	材料学概論	1③④		2		1	1				
	物理化学 I	1③④		2						1	
	工学基礎実験	2①②	1						1		
	電磁気学	2②		2		1					
	応用数学	2③		2			1				
工学概論/電気電子	1②									2	
工学概論/情報	1②									4	
工学概論/機械	1②							1		8	
工学概論/化学・生物	1②									8	
工学概論/土木・建築	1④									14	
小計(12科目)	-	1	22	0	9	5	0	1	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(問題解決能力・デザイン思考)	インフラ材料	2①	2			1					1
	物質科学	2②	2			3	1				2
	デザイン思考基礎	2③	2								1
	自然災害学	2③	2								2
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3④		2							1
	全学横断PBL	3②		1		2					8
	インターンシップA	3②③		1		9	5				
	インターンシップB	3②③		2		9	5				
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
	都市ブランドデザイン	3②		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3③	2			2					2
小計(16科目)	-	15	14	0	9	5	0	0	0	24	
(自然科学に関わる基礎学力)	入門ゼミナール	1①②		2		9	5		1		
	無機化学	1①②		2			1				
	力学	1③④		2			1				
	微分積分 I	1①②		2			1				
	微分積分 II	1③④		2		1					
	線形代数 I	1①②		2		1					
	線形代数 II	1③④		2		1					
	材料学概論	1③④		2		1	1				
	物理化学 I	1③④		2							1
	工学基礎実験	2③④	1							2	
	電磁気学	2②		2		1					
	応用数学	2③		2			1				
	工学概論/電気電子	1②							2		2
	工学概論/情報	1②							2		4
	工学概論/機械	1②							2	1	8
	工学概論/化学・生物	1②							2		8
	工学概論/土木・建築	1④							2		14
小計(17科目)	-	1	22	10	10	5	0	2	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	材料デザイン工学に関する専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6						
			社会人への心構え	3①②		2	8	3					
			先端材料工学	3③④		2	8	3					
			材料デザイン工学実験A	3通	1		3	1					
			材料デザイン工学実験B	3通	1		3	2					
			材料デザイン工学実験C	3通	1		2	1		1			
			材料デザイン工学実験D	3通	1		1	1					
			工場実習	4①		1		1					
			職業指導	4②			2						1
	小計(9科目)	-	4	5	4	9	4	0	1	0	1		
	材料物性・機能			物理化学Ⅱ	2①		2	1					
計算材料学Ⅰ				2②		2	1						
計算材料学Ⅱ				2④		2	1						
固体物性工学序論				2③		2	1						
結晶構造解析学				2③		2	1						
移動現象論Ⅰ				2④		2		1					
移動現象論Ⅱ				3②		2				1			
材料機能工学				3①		2	1						
固体物性工学				3②		2	1						
材料デザイン工学演習B				3②		2	3	2					
金属電子論				3④		2		1					
小計(11科目)	-	0	22	0	4	2	0	1	0	0			
材料創製			相変態序説	2①		2	1						
			材料力学	2①		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料デザイン工学に関する専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6					
			社会人への心構え	3①②		2	8	3				
			先端材料工学	3③④		2	8	3				
			材料デザイン工学実験A	3③④	1		3	1			1	
			材料デザイン工学実験B	3③④	1		3	2				
			材料デザイン工学実験C	3③④	1		2	1			1	
			材料デザイン工学実験D	3③④	1		1	1				
			工場実習	4①		1		1				
			職業指導	3②			2					
	小計(9科目)	-	4	5	4	9	4	0	2	0	1	
	材料物性・機能			物理化学Ⅱ	2①		2	1				
計算材料学Ⅰ				2②		2	1					
計算材料学Ⅱ				2④		2	1					
固体物性工学序論				2③		2	1					
結晶構造解析学				2③		2	1					
移動現象論Ⅰ				2④		2		1				
移動現象論Ⅱ				3②		2				1		
材料機能工学				3①		2	1					
固体物性工学				3②		2	1					
材料デザイン工学演習B				3④		2	3	2				
金属電子論				3④		2		1				
小計(11科目)	-	0	22	0	4	2	0	1	0	0		
材料創製			相変態序説	2④		2	1					
			材料力学	2①		2	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料デザイン工学に関する専門知識	材料工学序論Ⅰ	2②	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2④	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3②	2		3	1					
		組織制御工学	3④	2			1					
		小計(11科目)	-	0	22	0	3	1	0	0	0	0
		インフラ材料	固体拡散	2①	2		1					
	鉄鋼材料学		2③	2		1						
	循環資源材料工学Ⅰ		2③	2			1					
	循環資源材料工学Ⅱ		3①	2			1					
	環境材料学Ⅰ		2④	2		1						
	環境材料学Ⅱ		3②	2		1						
	溶接冶金学		3①	2		1			1			
	非鉄材料学		3②	2		1						
	構造材料学		3③	2		2						
	材料デザイン工学演習C		3③	2		2	1		1			
材料デザイン工学演習D	3④		2		1	1						
補修工学	3④	2		1								
小計(12科目)	-	0	24	0	5	2	0	0	0	0		
研究能力	卒業論文	4通	10		9	5		1				
	材料デザイン工学輪読	4通	4		9	5		1				
	小計(2科目)	-	14	0	0	9	5	0	1	0	0	
合計(184科目)		-	40	277	12	9	5	0	1	0	91	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料デザイン工学に関する専門知識	材料工学序論Ⅰ	2①	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2②	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3③	2		3	1		1			
		組織制御工学	3④	2			1					
		小計(11科目)	-	0	22	0	3	1	0	1	0	0
		インフラ材料	固体拡散	2①	2		1					
	鉄鋼材料学		2③	2		1						
	循環資源材料工学Ⅰ		2③	2			1					
	循環資源材料工学Ⅱ		3①	2			1					
	環境材料学Ⅰ		2④	2		1						
	環境材料学Ⅱ		3②	2		1						
	溶接冶金学		3①	2		1			1			
	非鉄材料学		3②	2		1						
	構造材料学		3③	2		2						
	材料デザイン工学演習C		3③	2		2	1		1			
材料デザイン工学演習D	3④		2		1	1						
補修工学	3④	2		1								
小計(12科目)	-	0	24	0	5	2	0	0	0	0		
研究能力	卒業論文	4通	10		9	5		2				
	材料デザイン工学輪読	4通	4		9	5		2				
	小計(2科目)	-	14	0	0	9	5	0	2	0	0	
合計(193科目)		-	40	285	22	10	5	0	2	0	302	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1) 学部共通科目 16単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 1単位以上を履修] (2) 自然科学に関わる基礎学力科目 13単位以上 [必修科目 1単位、選択科目(選択必修科目含む) 12単位以上を履修] (3) 専攻科目 62単位以上 [必修科目 18単位、選択科目(選択必修科目含む) 44単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
卒業要件及び履修方法											
<p>1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択</p> <p>2. 専門科目 91単位以上 (1) 学部共通科目 16単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 1単位以上を履修] (2) 自然科学に関わる基礎学力科目 13単位以上 [必修科目 1単位、選択科目(選択必修科目含む) 12単位以上を履修] (3) 専攻科目 62単位以上 [必修科目 18単位、選択科目(選択必修科目含む) 44単位以上を履修]</p> <p>3. 自由選択科目 10単位以内</p> <p>総修得単位数 124単位以上</p> <p>※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている</p>											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									4
	現代と教育	1前・後	2									7
	日本の歴史と社会	1前・後	2									4
	東洋の歴史と社会	1前	2									1
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									4
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									2
	言語と文化	1前・後	2									5
	音楽	1前・後	2									4
	美術	1前・後	2									8
	言語表現	1後	2									2
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション(未開講)	1前・後	2									1
	異文化理解	1前	2									1
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	53
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									6
	日本国憲法	1前・後	2									5
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									3
	市民生活と法	1前・後	2									8
	はじめての経済学	1前・後	2									4
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									4
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									4
	市場と企業の関係	1前・後	2									3
	地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	41

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	人文科学系	哲学のすすめ	1前・後	2								3
	人間と倫理	1前・後	2									2
	こころの科学	1前・後	2									2
	現代と教育	1前・後	2									7
	日本の歴史と社会	1前・後	2									4
	東洋の歴史と社会	1前・後	2									2
	西洋の歴史と社会	1前・後	2									4
	日本文学	1前・後	2									6
	外国文学	1前・後	2									3
	言語と文化	1前・後	2									4
	音楽	1前・後	2									2
	美術	1前・後	2									14
	言語表現	1後	2									1
	治療の文化史	1前・後	2									1
	異文化間コミュニケーション	1前	2									1
	異文化理解	1前	2									1
小計(16科目)	-	0	32	0	0	0	0	0	0	0	0	56
社会科学系	現代社会論	1前・後	2									6
	日本国憲法	1前・後	2									4
	国家と市民	1前・後	2									4
	経済生活と法	1前・後	2									5
	市民生活と法	1前・後	2									6
	はじめての経済学	1前・後	2									5
	産業と経済を学ぶ	1前・後	2									5
	経営資源のとらえ方	1前・後	2									3
	市場と企業の関係	1前・後	2									2
	地域の経済と社会・文化	1前・後	2									2
小計(10科目)	-	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	41

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系	地球と環境	1前・後	2								5
		生命の世界	1前・後	2								3
		物理の世界	1前・後	2								3
		化学物質の世界	1前・後	2								4
		自然と情報の数理	1前・後	2								4
		社会と情報の数理(未開講)	1前・後	2								1
		技術の世界	1前・後	2								4
		材料の科学	1後	2			2	1				
		生活の科学	1前	2								1
		コンピュータの話	1前	2								2
		デザインと生物	1後	2								3
小計(11科目)	-	0	22	0	2	1	0	0	0	0	29	
医療・健康科学系	医療・健康科学系	医療心理学	1前	2								2
		概説医療心理学	1前	1								1
		認知科学	1後	2								1
		脳科学入門	1後	2								2
		生命科学入門	1前	1								2
		免疫学入門	1前	2								2
		身近な医学	1後	2								1
		障害とアクセシビリティ	1前	2								5
		医療と地域社会	1後	2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	13	
総合科目系	総合科目系	環境	1前・後	2								3
		ジェンダー	1前・後	2								1
		技術と社会	1前・後	2			2					2
		現代文化	1後	2								1
		人権と福祉	1前・後	2								1
		環日本海	1前	2								2
		科学と社会	1前・後	2								7
		アカデミック・デザイン	1後	2								2
		ビジネス思考	1後	2								2
		平和学入門	1前	2								1
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1前	2								1		
新聞投稿に挑戦	1後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学系	地球と環境	1前・後	2								3
		生命の世界	1前・後	2								4
		物理の世界	1前・後	2								3
		化学物質の世界	1前・後	2								3
		自然と情報の数理	1前・後	2								6
		社会と情報の数理	1前	2								1
		技術の世界	1前	2								1
		材料の科学	1後	2				1				2
		生活の科学	1前・後	2								4
		コンピュータの話	1前	2								2
		デザインと生物	1後	2								3
小計(11科目)	-	0	22	0	1	0	0	0	0	0	32	
医療・健康科学系	医療・健康科学系	医療心理学	1前	2								1
		概説医療心理学	1前	1								1
		認知科学	1後	2								1
		脳科学入門	1後	2								2
		生命科学入門	1前	1								2
		免疫学入門	1前	2								2
		身近な医学	1後	2								1
		障害とアクセシビリティ	1前	2								1
		医療と地域社会	1後	2								1
小計(9科目)	-	0	16	0	0	0	0	0	0	0	8	
総合科目系	総合科目系	環境	1前	2								2
		ジェンダー	1前・後	2								1
		技術と社会	1前・後	2				1		1		4
		現代文化	1後	2								1
		人権と福祉	1前・後	2								1
		環日本海	1前	2								1
		科学と社会	1前・後	2								3
		アカデミック・デザイン	1後	2								2
		ビジネス思考	1後	2								1
		平和学入門	1前	2								1
東アジア共同体論-政治・経済・文化-	1後	2								1		
新聞投稿に挑戦	1後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1後	2							2
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1前	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前・後	2							3
		産業観光学	1後	2							1
		富山のものづくり概論	1前	2		1					
富山の地域づくり	1前	2							4		
小計(29科目)		-	0	58	0	3	0	0	0	0	40
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							12
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							10
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							11
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							11
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							10
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							7
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							9
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							7
		フランス語基礎Ⅰ	1前	1							1
		フランス語基礎Ⅱ	1後	1							1
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前	1							5
		フランス語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		中国語基礎Ⅰ	1前	1							10
		中国語基礎Ⅱ	1後	1							10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養教育科目	総合科目系	富山から考える震災・復興学	1後	2							1
		環境と安全管理	1前	2							1
		万葉学	1前	2							1
		日本海学	1後	2							1
		富山大学学	1後	2							1
		とやま地域学	1前	2							1
		時事的問題	1前	2							1
		災害救援ボランティア論	1後	2							1
		感性をはぐくむ	1前	2							1
		日本事情／芸術文化	1後	2							1
		日本事情／自然社会	1前	2							1
		学士力・人間力基礎	1前	2							1
		富山学	1前	2							1
		地域ライフプラン	1前・後	2							2
		産業観光学	1前	2							2
		富山のものづくり概論	1前・後	2		1					2
富山の地域づくり	1前・後	2							3		
小計(29科目)		-	0	58	0	2	0	0	1	0	34
外国語系	外国語系	英語リテラシーⅠ-A	1前	1							11
		英語リテラシーⅡ-A	1後	1							13
		英語コミュニケーションⅠ-A	1前	1							14
		英語コミュニケーションⅡ-A	1後	1							13
		ドイツ語基礎Ⅰ	1前	1							6
		ドイツ語基礎Ⅱ	1後	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅠ	1前	1							6
		ドイツ語コミュニケーションⅡ	1後	1							5
		フランス語基礎Ⅰ	1前・後	1							2
		フランス語基礎Ⅱ	1前・後	1							2
		フランス語コミュニケーションⅠ	1前・後	1							5
		フランス語コミュニケーションⅡ	1前・後	1							5
		中国語基礎Ⅰ	1前・後	1							10
		中国語基礎Ⅱ	1前・後	1							10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							7	
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							7	
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1	
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2	
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2	
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1							1
		発展多言語演習中国語	2前		1							1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前		1							1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後		1							1
	日本語コミュニケーションⅢ	2前		1							1	
	日本語リテラシーⅢ	2前		1							1	
	日本語／専門研究	2後		1							1	
	日本語／ビジネス	2後		1							1	
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	74	
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1							8
		健康・スポーツ／実技	1前・後		1							16
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	18
	情報処理系	情報処理—A	1前	2								13
		応用情報処理	1後		2							4
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0	14
	(学部共通科目)	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2								1
		データサイエンスⅡ／多変量解析	2①		2							1
		データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2							1
		都市デザイン学総論	1③④	2			6					6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	外国語系	中国語コミュニケーションⅠ	1前	1							7	
		中国語コミュニケーションⅡ	1後	1							7	
		朝鮮語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		朝鮮語基礎Ⅱ	1後	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅠ	1前	1							2	
		朝鮮語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		ロシア語基礎Ⅰ	1前	1							2	
		ロシア語基礎Ⅱ	1後	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅠ	1前	1							1	
		ロシア語コミュニケーションⅡ	1後	1							1	
		日本語リテラシーⅠ	1前	1							2	
		日本語リテラシーⅡ	1後	1							2	
		日本語コミュニケーションⅠ	1前	1							3	
		日本語コミュニケーションⅡ	1後	1							2	
		発展多言語演習ドイツ語	2前		1							1
		発展多言語演習中国語	2前		1							1
		発展多言語演習ラテン語Ⅰ	1前		1							1
		発展多言語演習ラテン語Ⅱ	1後		1							1
	日本語コミュニケーションⅢ	2後		1							1	
	日本語リテラシーⅢ	2前		1							1	
	日本語／専門研究	2前・後		1							3	
	日本語／ビジネス	2後		1							1	
	小計(36科目)	-	4	24	8	0	0	0	0	0	78	
	保健・体育系	健康・スポーツ／講義	1後		1							8
		健康・スポーツ／実技	1前・後		1							16
		小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	17
	情報処理系	情報処理—A	1前・後	2								12
		応用情報処理	1後		2							5
		小計(2科目)	-	2	2	0	0	0	0	0	0	13
	(学部共通科目)	データサイエンスⅠ／確率統計	1③④	2								1
		データサイエンスⅡ／多変量解析	2①		2							1
		データサイエンスⅢ／ビッグデータ解析基礎	3①		2							1
		都市デザイン学総論	1③④	2			6					6

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(問題解決能力・デザイン思考)	インフラ材料	2①	2			1					1
	物質科学	2②	2			3	1				2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	自然災害学	2③	2								2
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3①		2							1
	全学横断PBL	3②		1		2					8
	インターンシップA	3②③		1		9	5				
	インターンシップB	3②③		2		9	5				
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
	都市ブランドデザイン	3③		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3④	2			2					2
小計(16科目)	-	15	14	0	9	5	0	0	0	24	
(自然科学に関わる基礎学力)	入門ゼミナール	1①②		2		10	5		1		
	無機化学	1①②		2			1				
	力学	1③④		2			1				
	微分積分 I	1①②		2			1				
	微分積分 II	1③④		2		1					
	線形代数 I	1①②		2		1					
	線形代数 II	1③④		2		1					
	材料学概論	1③④		2		1	1				
	物理化学 I	1③④		2							1
	工学基礎実験	2①②	1						1		
	電磁気学	2②		2		1					
	応用数学	2③		2			1				
小計(12科目)	-	1	22	0	10	5	0	1	0	1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
(問題解決能力・デザイン思考)	インフラ材料	2①	2			1					1
	物質科学	2②	2			3	1				2
	デザイン思考基礎	2②	2								1
	自然災害学	2③	2								2
	デザインプレゼンテーション	2④		2							1
	モビリティデザイン	3④		2							1
	全学横断PBL	3②		1		2					8
	インターンシップA	3②③		1		9	5				
	インターンシップB	3②③		2		9	5				
	地域デザインPBL	3③	1			3					7
	都市ブランドデザイン	3③		2							1
	科学者・技術者倫理と知的財産	3③	2			2					2
小計(16科目)	-	15	14	0	9	5	0	0	0	24	
(自然科学に関わる基礎学力)	入門ゼミナール	1①②		2		10	5		2		
	無機化学	1①②		2			1				
	力学	1③④		2			1				
	微分積分 I	1①②		2			1				
	微分積分 II	1③④		2		1					
	線形代数 I	1①②		2		1					
	線形代数 II	1③④		2		1					
	材料学概論	1③④		2		1	1				
	物理化学 I	1③④		2							1
	工学基礎実験	2①②	1						2		
	電磁気学	2②		2		1					
	応用数学	2③		2			1				
	工学概論/電気電子	1②		2							2
	工学概論/情報	1②		2							5
	工学概論/機械	1②		2		1					8
	工学概論/化学・生物	1②		2							8
	工学概論/土木・建築	1④		2							14
小計(17科目)	-	1	22	10	10	5	0	2	0	9	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目	材料デザイン工学に関わる専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6						
			社会人への心構え	3①②		2	8	3					
			先端材料工学	3③④		2	8	3					
			材料デザイン工学実験A	3通	1		3	1					
			材料デザイン工学実験B	3通	1		3	2					
			材料デザイン工学実験C	3通	1		2	1		1			
			材料デザイン工学実験D	3通	1		1	1					
			工場実習	4①		1		1					
			職業指導	4②			2						1
	小計(9科目)	-	4	5	4	9	4	0	1	0	1		
	材料物性・機能			物理化学Ⅱ	2①		2	1					
計算材料学I				2②		2	1						
計算材料学Ⅱ				2④		2	1						
固体物性工学序論				2③		2	1						
結晶構造解析学				2③		2	1						
移動現象論Ⅰ				2④		2		1					
移動現象論Ⅱ				3②		2				1			
材料機能工学				3①		2	1						
固体物性工学				3②		2	1						
材料デザイン工学演習B				3②		2	3	2					
金属電子論				3④		2		1					
小計(11科目)	-	0	22	0	4	2	0	1	0	0			
材料創製			相変態序説	2①		2	1						
			材料力学	2①		2	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料デザイン工学に関わる専門知識	応用力	工学概論／金属	2②		2	6					
			社会人への心構え	3①②		2	8	3				
			先端材料工学	3③④		2	8	3				
			材料デザイン工学実験A	3通	1		3	1			1	
			材料デザイン工学実験B	3通	1		3	2				
			材料デザイン工学実験C	3通	1		2	1			1	
			材料デザイン工学実験D	3通	1		1	1				
			工場実習	4①		1		1				
			職業指導	4②			2					
	小計(9科目)	-	4	5	4	9	4	0	2	0	1	
	材料物性・機能			物理化学Ⅱ	2①		2	1				
計算材料学I				2②		2	1					
計算材料学Ⅱ				2④		2	1					
固体物性工学序論				2③		2	1					
結晶構造解析学				2③		2	1					
移動現象論Ⅰ				2④		2		1				
移動現象論Ⅱ				3②		2					1	
材料機能工学				3①		2	1					
固体物性工学				3②		2	1					
材料デザイン工学演習B				3②		2	3	2				
金属電子論				3④		2		1				
小計(11科目)	-	0	22	0	4	2	0	1	0	0		
材料創製			相変態序説	2①		2	1					
			材料力学	2①		2	1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料創製 材料デザイン工学に関わる専門知識	材料工学序論Ⅰ	2②	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2④	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3②	2		3	1					
		組織制御工学	3④	2			1					
		小計(11科目)	-	0	22	0	3	1	0	0	0	0
		インフラ材料	固体拡散	2①	2		1					
	鉄鋼材料学		2③	2		1						
	循環資源材料工学Ⅰ		2③	2			1					
	循環資源材料工学Ⅱ		3①	2			1					
	環境材料学Ⅰ		2④	2		1						
	環境材料学Ⅱ		3②	2		1						
	溶接冶金学		3①	2		1			1			
	非鉄材料学		3②	2		1						
	構造材料学		3③	2		2						
	材料デザイン工学演習C		3③	2		2	1		1			
	材料デザイン工学演習D		3④	2		1	1					
	補修工学		3④	2		1						
	小計(12科目)	-	0	24	0	5	2	0	0	0	0	
研究能力	卒業論文	4通	10		9	5		1				
	材料デザイン工学輪読	4通	4		9	5		1				
	小計(2科目)	-	14	0	0	9	5	0	1	0	0	
合計(188科目)			-	40	285	12	9	5	0	1	0	298

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	材料創製 材料デザイン工学に関わる専門知識	材料工学序論Ⅰ	2②	2		1						
		材料工学序論Ⅱ	2④	2		1						
		材料加工学Ⅰ	2③	2		1						
		材料加工学Ⅱ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅰ	3①	2		1						
		素形材工学Ⅱ	3③	2		1						
		材料強度学	3②	2			1					
		材料デザイン工学演習A	3②	2		3	1			1		
		組織制御工学	3④	2			1					
		小計(11科目)	-	0	22	0	3	1	0	1	0	0
		インフラ材料	固体拡散	2①	2		1					
	鉄鋼材料学		2③	2		1						
	循環資源材料工学Ⅰ		2③	2			1					
	循環資源材料工学Ⅱ		3①	2			1					
	環境材料学Ⅰ		2④	2		1						
	環境材料学Ⅱ		3②	2		1						
	溶接冶金学		3①	2		1			1			
	非鉄材料学		3②	2		1						
	構造材料学		3③	2		2						
	材料デザイン工学演習C		3③	2		2	1			1		
	材料デザイン工学演習D		3④	2		1	1					
	補修工学		3④	2		1						
	小計(12科目)	-	0	24	0	5	2	0	0	0	0	
研究能力	卒業論文	4通	10		9	5			2			
	材料デザイン工学輪読	4通	4		9	5			2			
	小計(2科目)	-	14	0	0	9	5	0	2	0	0	
合計(193科目)			-	40	285	22	10	5	0	2	0	305

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1) 学部共通科目 16単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 1単位以上を履修] (2) 自然科学に関わる基礎学力科目 13単位以上 [必修科目 1単位、選択科目(選択必修科目含む) 12単位以上を履修] (3) 専攻科目 62単位以上 [必修科目 18単位、選択科目(選択必修科目含む) 44単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
卒業要件及び履修方法											
1. 教養教育科目 23単位以上 [必修科目 6単位、選択科目(選択必修科目含む) 17単位以上を履修] 選択科目のうち、人文科学系から4単位以上、社会科学系から4単位以上、総合科目系から4単位以上を選択 選択科目のうち、人文科学系、社会科学系、自然科学系、医療・健康科学系及び総合科目系の中から地域志向科目2科目4単位以上を選択 2. 専門科目 91単位以上 (1) 学部共通科目 16単位以上 [必修科目 15単位、選択科目(選択必修科目含む) 1単位以上を履修] (2) 自然科学に関わる基礎学力科目 13単位以上 [必修科目 1単位、選択科目(選択必修科目含む) 12単位以上を履修] (3) 専攻科目 62単位以上 [必修科目 18単位、選択科目(選択必修科目含む) 44単位以上を履修] 3. 自由選択科目 10単位以内 総修得単位数 124単位以上 ※ 履修登録単位数の上限 15単位(2年次以降は12単位)(ターム) ※ 教養教育科目については全学において実施するため2学期制としている											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化理解／材料の科学／生活の科学／コンピュータの話／デザインと生物／医療心理学／概説医療心理学／認知科学
脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ／医療と地域社会／現代文化／環日本海
アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門／東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学
環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ
日本事情/芸術文化 / 日本事情/自然社会 / 学士力・人間力基礎／富山学／産業観光学／富山のものづくり概論
富山の地域づくり／発展多言語演習ラテン語Ⅰ／発展多言語演習ラテン語Ⅱ / 健康・スポーツ/講義 / 健康・スポーツ/実技
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「入門ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては、平成32年度まで教授10名として提出済み)
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、「データサイエンスⅠ/確率統計」の開講タームを1②から1③④に変更する。
教育効果を高めるため、「力学」の開講タームを1①②から1③④に変更する。

【令和元年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／技術の世界／材料の科学／コンピュータの話／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会 環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学／とやま地域学
時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情/芸術文化/日本事情/自然社会/学士力・人間力基礎/富山学
産業観光学／フランス語基礎Ⅰ／フランス語基礎Ⅱ／フランス語コミュニケーションⅠ／フランス語コミュニケーションⅡ／中国語基礎Ⅰ
中国語基礎Ⅱ／発展多言語演習ラテン語Ⅰ／発展多言語演習ラテン語Ⅱ／日本語コミュニケーションⅢ／日本語/専門研究
健康・スポーツ/講義/健康・スポーツ/実技/情報処理—A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「入門ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては、平成32年度まで教授10名として提出済み)
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
データサイエンスⅠ/確率統計/科学者・技術者倫理と知的財産/力学
- 専攻科目における専任教員等の配置内容変更
教育効果を高めるため、以下の科目の専任教員等の配置を変更する。
入門ゼミナール/工学基礎実験/材料デザイン工学実験A/材料デザイン工学演習A/卒業論文/材料デザイン工学輪読
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
工学概論/電気電子/工学概論/情報/工学概論/機械/工学概論/化学・生物/工学概論/土木・建築

【令和2年度】

- 教養教育科目における新規科目の追加
科目充実のため、以下の科目を追加する。
東洋の歴史と社会／国家と市民／地域の経済と社会・文化／新聞投稿に挑戦
- 教養教育科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
言語表現／異文化間コミュニケーション／異文化理解／社会と情報の数理／材料の科学／生活の科学／デザインと生物
医療心理学／概説医療心理学／認知科学／脳科学入門／生命科学入門／免疫学入門／身近な医学／障害とアクセシビリティ
医療と地域社会／環境／現代文化／環日本海／アカデミック・デザイン／ビジネス思考／平和学入門
東アジア共同体論-政治・経済・文化-／富山から考える震災・復興学／環境と安全管理／万葉学／日本海学／富山大学学
とやま地域学／時事的問題／災害救援ボランティア論／感性をはぐくむ／日本事情/芸術文化／日本事情/自然社会
学士力・人間力基礎／富山学／地域ライフプラン／産業観光学／富山の地域づくり／フランス語基礎Ⅰ／フランス語基礎Ⅱ
フランス語コミュニケーションⅠ／フランス語コミュニケーションⅡ／中国語基礎Ⅰ／中国語基礎Ⅱ／日本語リテラシーⅡ
日本語コミュニケーションⅠ／日本語リテラシーⅢ／日本語/専門研究／日本語/ビジネス/健康・スポーツ/講義
健康・スポーツ/実技/情報処理-A
- 教養教育科目における教員配置の変更
担当教員変更のため、上記以外の教養教育科目における教員配置を変更する。
- 設置計画書誤記修正のための専攻科目における専任教員等の配置内容変更
設置計画書誤記修正のため、「入門ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更する。
(設置計画書における教員名簿等においては、令和2年度まで教授10名として提出済み)
- 専攻科目における配当年次の変更
教育効果を高めるため、以下の科目の配当年次を変更する。
「データサイエンスⅠ/確率統計」「科学者・技術者倫理と知的財産」「都市ブランドデザイン」「デザイン思考基礎」「力学」
「職業指導」「相変態序説」「材料工学序論Ⅰ」「材料工学序論Ⅱ」「材料デザイン工学演習A」「材料デザイン工学演習B」
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実験・実習科目の開講時期の変更
「データサイエンスⅡ/多変量解析」「モビリティデザイン」「工学実験基礎」「材料デザイン工学実験A」「材料デザイン工学実験B」
「材料デザイン工学実験C」「材料デザイン工学実験D」
- 専攻科目における専任教員等の配置内容変更
教育効果を高めるため、以下の科目の専任教員等の配置を変更する。
入門ゼミナール／工学基礎実験／材料デザイン工学実験A／材料デザイン工学演習A／卒業論文／材料デザイン工学輪読
- 専攻科目における新規科目の追加
平成31年度教職再課程認定への対応のため、以下の科目を新たに追加する。
工学概論/電気電子/工学概論/情報/工学概論/機械/工学概論/化学・生物/工学概論/土木・建築

変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	154 科目	10 科目	184 科目	20 科目	158 科目	15 科目	193 科目	
				[]	[4]	[5]	[9]	

記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	(該当なし)					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{184} = \boxed{0}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校 舎 敷 地	518,141 m ²	- m ²	- m ²	518,141 m ²			
	運 動 場 用 地	105,572 m ²	- m ²	- m ²	105,572 m ²			
	小 計	623,713 m ²	- m ²	- m ²	623,713 m ²			
	そ の 他	89,909 m ²	- m ²	- m ²	89,909 m ²			
	合 計	713,622 m ²	- m ²	- m ²	713,622 m ²			
(2) 校 舎	専 用	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	- m ²	- m ²	228,130 225,644 223,262 222,893 m ²	ボイラー室及び動物飼育室撤去、特高受変電室及び厨房棟新築のため(2)		
	() m ²	() m ²	() m ²	() m ²	() m ²	実験実習棟の竣工等のため(元) 第2大学食堂の増築等のため(30)		
(3) 教 室 等	講 義 室	131 133 室	演 習 室 242 237 室 217	実 験 実 習 室 676 671 室 630	情 報 処 理 学 習 施 設 21 20 室 14 -13 (補助職員 12人)	語 学 学 習 施 設 3 4 室 0 (補助職員 1人)	大学全体 担当事務職員配置換え及び教室の用途変更のため(2) 実験実習棟の竣工及び教員1名補充のため(元) 学生の修学環境を改善するため(30)	
	(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 都市デザイン学部		室 数 48 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学 術 雑 誌 〔うち外国書〕 種		視 聴 覚 資 料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	学部単位での特定不能なため、大学全体の数 新規受入、図書の整理のため(2)(元) (30)
			電 子 ジ ャ ー ナ ル 〔うち外国書〕					
	都市デザイン学部	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0	
		1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0	
計	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	37 36 38	0		
	1,351,562 [430,701] 1,358,234 [433,606] 1,370,847 [438,793] 1,363,030 [437,165]	23,112 [7,249] 24,567 [7,596] 24,815 [7,663] 24,760 [7,653]	14,350 [12,852] 13,872 [12,418] 12,790 [11,427] 13,004 [11,720]	18,336 17,888 18,297 18,179	(37) (36) (38)	0		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		【閲覧座席数】学習環境整備のため(2) (元)(30) 【収納可能冊数】書架を購入して、書棚を増やしたため、収納できる冊数が増加した(30)	
	13,855 m ²		1,512 1,502 1,566 1,567		1,056,750 1,043,783			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要			大学全体		
	7,112 m ²		弓 道 場 ・ 武 道 館 プ ー ル ・ テ ニ ス コ ー ト					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号 (その 1 の 1) に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は A C 対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	富山大学										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		
人文学部	4	170	14	709	-	1.03	1.05	-	昭和52	-	
人文学科	4	170	3年次 7	709	学士 (文学)	1.03	1.05	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	定員変更(△15)
人間発達科学部	4	170	-	680	-	1.04	1.04	-	平成17	-	
発達教育学科	4	80	-	320	学士 (教育学)	1.05	1.06	-	平成17	富山県富山市五福3190番地	
人間環境システム学科	4	90	-	360	学士 (教育学)	1.03	1.02	-	平成17	同上	
経済学部	4	335	20	1,430	-	-	-	平成30	昭和28	-	
(昼間主コース)	4	305	20	1,280		1.02	1.02				
経済学科	4	120	3年次 4	364	学士 (経済学)	1.04	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
経済学科	4	-	3年次 4	139	学士 (経済学)	-	-	-	昭和28	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	100	3年次 4	304	学士 (経営学)	1.01	1.04	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	3年次 4	119	学士 (経営学)	-	-	-	昭和49	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	85	3年次 2	257	学士 (法学)	1.01	1.02	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	3年次 2	97	学士 (法学)	-	-	-	昭和54	同上	平成30年より学生募集停止
(夜間主コース)	4	30	-	150		1.03	1.10				
経済学科	4	10	-	30	学士 (経済学)	1.10	1.20	平成30	平成30	同上	
経済学科	4	-	-	20	学士 (経済学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営学科	4	10	-	30	学士 (経営学)	1.03	1.10	平成30	平成30	同上	
経営学科	4	-	-	20	学士 (経営学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止
経営法学科	4	10	-	30	学士 (法学)	1.00	1.00	平成30	平成30	同上	
経営法学科	4	-	-	20	学士 (法学)	-	-	-	昭和61	同上	平成30年より学生募集停止

理学部	4	190	8	808	-	1.03	1.03	-	昭和52	-	
数学科	4	50	-	200	学士 (理学)	1.02	1.02	-	昭和52	富山県富山市五福3190番地	
物理学科	4	40	3年次 1	162	学士 (理学)	1.03	1.05	-	昭和52	同上	
化学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
生物学科	4	35	3年次 1	142	学士 (理学)	1.04	1.05	-	昭和52	同上	
地球科学科	4	-	-	40	学士 (理学)	-	-	-	昭和52	同上	平成30年より学生募集停止
生物圏環境科学科	4	30	3年次 1	122	学士 (理学)	1.05	1.00	-	平成5	同上	
医学部	-	185	45	995	-	-	-	-	昭和50	-	
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	1.00	平成30	昭和50	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学科	4	80	3年次10	320	学士 (看護学)	1.00	1.00	-	平成5	同上	
薬学部	-	105	-	530	-	-	-	-	昭和24	-	
薬学科	6	55	-	330	学士 (薬学)	1.03	1.00	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
創薬科学科	4	50	-	200	学士 (薬科学)	1.06	1.08	-	平成18	同上	
工学部	4	365	40	1,537	-	1.02	1.02	平成30	昭和24	-	収容定員における編入学者数は、学部計に含める
工学科	4	365	3年次17	1,112	学士 (工学)	1.02	1.02	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
電気電子システム工学科	4	-	3年次 20 (各学科 共通)	88	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
知能情報工学科	4	-		72	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
機械知能システム工学科	4	-		90	学士 (工学)	-	-	-	平成9	同上	平成30年より学生募集停止
生命工学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
環境応用化学科	4	-		52	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
材料機能工学科	4	-		51	学士 (工学)	-	-	-	平成20	同上	平成30年より学生募集停止
芸術文化学部	4	110		-	445	-	1.03	1.01	-	平成17	-
芸術文化学科	4	110	-	445	学士 (芸術文化 学)	1.03	1.01	-	平成17	富山県高岡市二上町180番地	定員変更(△5)
都市デザイン学部	4	140	-	423	-	1.04	1.04	平成30	平成30	-	
地球システム科学科	4	40	-	120	学士 (理学)	1.02	1.00	平成30	平成30	富山県富山市五福3190番地	
都市・交通デザイン学科	4	40	3年次 1	121	学士 (工学)	1.03	1.02	平成30	平成30	同上	
材料デザイン工学科	4	60	3年次 2	182	学士 (工学)	1.06	1.08	平成30	平成30	同上	
大学全体	-	1,770	127	7,557	-	-	-	-	-	-	

大学の名称	富山大学大学院										備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学定 員 超過率	令和2年度 入学定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	倍				
人文科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	1.06	1.12	-	昭和61	-	
人文科学専攻	2	8	-	16	修士 (文学)	1.06	1.12	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
人間発達科学研究科 (修士課程)	2	12	-	24	-	1.08	0.91	-	平成23	-	
発達教育専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	0.66	0.66	-	平成23	富山県富山市五福3190番地	
発達環境専攻	2	6	-	12	修士 (教育学)	1.49	1.16	-	平成23	同上	
経済学研究科 (修士課程)	2	18	-	36	-	0.85	0.77	-	平成3	-	
地域・経済政策専攻	2	6	-	12	修士 (経済学)	0.91	0.66	-	平成3	富山県富山市五福3190番地	
企業経営専攻	2	12	-	24	修士 (経営学)	0.83	0.83	-	平成3	同上	
芸術文化科学研究科 (修士課程)	2	8	-	16	-	0.87	0.87	-	平成23	-	
芸術文化学専攻	2	8	-	16	修士 (芸術文化 学)	0.87	0.87	-	平成23	富山県高岡市二上町180番地	
生命融合科学教育部 (博士課程)	-	17	-	60	-	-	-	-	平成18	-	
認知・情動脳科学専攻	4	9	-	36	博士 (医学)	0.71	0.44	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
生体情報システム科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.58	0.75	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
先端ナノ・バイオ科学専攻	3	4	-	12	博士 (薬科学、 理学又は工 学)	0.50	0.25	-	平成18	同上	

医学薬学教育部	-	106	-	281	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	15	-	30		0.26	0.13				
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	0.26	0.13	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
看護学専攻	2	-	-	-	修士 (看護学)	-	-	-	平成18	同上	平成27年より学生募集停止
(博士前期課程)	2	51	-	102		1.16	1.03				
看護学専攻	2	16	-	32	修士 (看護学)	0.40	0.37	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	2	35	-	70	修士 (薬科学)	1.51	1.34	-	平成22	同上	
(博士後期課程)	3	11	-	33		1.06	1.00				
看護学専攻	3	3	-	9	修士 (看護学)	1.11	1.00	-	平成27	富山県富山市杉谷2630番地	
薬科学専攻	3	8	-	24	修士 (薬科学)	1.04	1.00	-	平成24	同上	
(博士課程)	-	29	-	116		0.72	0.68				
生命・臨床医学専攻	4	18	-	72	博士 (医学)	0.96	0.88	-	平成18	富山県富山市杉谷2630番地	
東西統合医学専攻	4	7	-	28	博士 (医学)	0.35	0.57	-	平成18	同上	
薬学専攻	4	4	-	16	博士 (薬学)	0.31	0.00	-	平成24	同上	
生命薬科学専攻	3	-	-	-	博士 (薬学)	-	-	-	平成18	同上	平成24年より学生募集停止
理工学教育部	-	233	-	482	-	-	-	-	平成18	-	
(修士課程)	2	217	-	434		1.23	1.17				
数学専攻	2	8	-	16	修士 (理学)	0.87	0.62	-	平成18	富山県富山市五福3190番地	
物理学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.04	0.75	-	平成18	同上	
化学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.20	1.08	-	平成18	同上	
生物学専攻	2	12	-	24	修士 (理学)	1.29	1.25	-	平成18	同上	
地球科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	1.10	1.00	-	平成18	同上	
生物環境科学専攻	2	10	-	20	修士 (理学)	0.80	0.80	-	平成18	同上	
電気電子システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.24	1.06	-	平成18	同上	
知能情報工学専攻	2	27	-	54	修士 (工学)	1.25	1.14	-	平成18	同上	
機械知能システム工学専攻	2	33	-	66	修士 (工学)	1.45	1.60	-	平成18	同上	
生命工学専攻	2	18	-	36	修士 (工学)	1.52	1.33	-	平成24	同上	
環境応用化学専攻	2	22	-	44	修士 (工学)	1.04	1.09	-	平成24	同上	
材料機能工学専攻	2	20	-	40	修士 (工学)	1.35	1.45	-	平成24	同上	

(博士課程)	3	16	-	48		1.14	1.18			
数理・ヒューマンシステム科学専攻	3	5	-	15	博士 (理学又は工学)	1.20	1.80	-	平成18	富山県富山市五福3190番地
ナノ新機能物質科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	1.66	1.50	-	平成18	同上
新エネルギー科学専攻	3	3	-	9	博士 (理学又は工学)	0.99	0.66	-	平成18	同上
地球生命環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (理学又は工学)	0.66	0.50	-	平成18	同上
教職実践開発研究科 (専門職学位課程)	2	14	-	28	-	0.92	0.92	-	平成28	-
教職実践開発専攻	2	14	-	28	教職修士 (専門職)	0.92	0.92	-	平成28	富山県富山市五福3190番地
大学院全体	-	416	-	943	-	-	-	-	-	-

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】			【令和元年度】			【令和2年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>	専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>	専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>	専	教授	西村 克彦 <平成30年4月>
		物理の世界 都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			都市デザイン学総論 物質科学 全学横断PBL インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 線形代数I 電磁気学 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 固体物性工学序論 固体物性工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
		佐伯 淳 <平成30年4月>			佐伯 淳 <平成30年4月>			佐伯 淳 <平成30年4月>			佐伯 淳 <平成30年4月>
専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>	専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>	専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>	専	教授	佐伯 淳 <平成30年4月>
		材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			材料の科学 都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			都市デザイン学総論 物質科学 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 結晶構造解析学 材料機能工学 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
		星野 一宏 <平成30年4月>			星野 一宏 <平成30年4月>			星野 一宏 <平成30年4月>			星野 一宏 <平成30年4月>
専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>	専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>	専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>	専	教授	星野 一宏 <平成30年4月>
		生命の世界 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 材料デザイン工学実験D 物理化学II 環境材料学I 環境材料学II 材料デザイン工学演習D 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>	専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>	専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>	専	教授	砂田 聡 <平成30年4月>
		材料の科学 物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D			物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D			材料の科学 物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D			物質科学 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験D 循環資源材料工学I 材料デザイン工学演習D
専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>	専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>	専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>	専	教授	柴柳 敏哉 <平成30年4月>
		富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読			富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読			富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読			富山のものづくり概論 都市デザイン学総論 インフラ材料 インターンシップA インターンシップB 地域デザインPBL 入門ゼミナール 微分積分II 工学概論/金属 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験C 固体拡散 溶接冶金学 構造材料学 材料デザイン工学演習C 補修工学 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>	専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>	専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>	専	教授	布村 紀男 <平成30年4月>
		応用情報処理 インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読			応用情報処理 インターンシップA インターンシップB 科学者・技術者倫理と知的財産 入門ゼミナール 線形代数II 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 計算材料学I 計算材料学II 材料デザイン工学演習B 卒業論文 材料デザイン工学輪読
専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>	専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>	専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>	専	准教授	並木 孝洋 <平成30年4月>
		物理の世界 インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読			インターンシップA インターンシップB 入門ゼミナール 力学 微分積分I 社会人への心構え 先端材料工学 材料デザイン工学実験B 材料デザイン工学演習B 金属電子論 卒業論文 材料デザイン工学輪読

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月> 科学と社会 自然災害学
兼任	教授	杉浦 幸之助 <平成30年4月> 地球と環境 日本海学
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	石崎 泰男 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学
兼任	教授	楠本 成寿 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月> 自然災害学
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		土屋 大樹 <平成31年4月>
専	助教	技術と社会 入門ゼミナール 工学基礎実験 材料デザイン工学実験A 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
兼任	教授	大藤 茂 <平成30年4月> 地球と環境
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 物質科学
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月> 自然災害学
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 工学概論/土木・建築
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
		土屋 大樹 <平成31年4月>
専	助教	技術と社会 入門ゼミナール 工学基礎実験 材料デザイン工学実験A 材料デザイン工学演習A 卒業論文 材料デザイン工学輪読
兼任	教授	小室 光世 <平成31年4月> 物質科学
兼任	教授	渡邊 了 <平成30年4月> 地球と環境 物質科学
兼任	教授	安永 数明 <平成30年4月> 科学と社会 自然災害学
兼任	教授	堀田 裕弘 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A データサイエンスⅠ/確率統計 データサイエンスⅡ/多変量解析 工学概論/土木・建築
兼任	教授	本田 豊 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築
兼任	教授	木村 一郎 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 工学概論/土木・建築
兼任	教授	中川 大 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 工学概論/土木・建築
兼任	教授	金山 洋一 <平成30年4月> 全学横断PBL 地域デザインPBL 科学者・技術者倫理と知的財産 工学概論/土木・建築

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	古田 高士 <平成30年4月> 自然と情報の数理 情報処理一A
兼任	准教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	後藤 敏伸 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	恒川 正巳 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	高橋 満彦 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼任	准教授	高島 圭史 <平成30年4月> デザインと生物
兼任	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ
兼任	教授	根岸 秀行 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	佐藤 徳 <平成30年4月> こころの科学
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	古田 高士 <平成31年4月> 情報処理一A
兼任	教授	鼓 みどり <平成31年4月> 美術
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼任	教授	高島 圭史 <平成30年4月> デザインと生物
兼任	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ
兼任	教授	佐藤 真基子 <平成30年4月> 発展多言語演習ラテン語Ⅰ 発展多言語演習ラテン語Ⅱ 外国文学
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	桑井 智彦 <令和2年4月> 物理の世界
兼任	教授	恒川 正巳 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	教授	香川 崇 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	高橋 誠一 <平成30年4月> 美術
兼任	教授	高橋 満彦 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	高山 龍太郎 <平成30年4月> 時事的問題
兼任	教授	黒田 廉 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ
兼任	教授	佐藤 裕 <平成30年4月> ジェンダー
兼任	教授	坂田 博美 <平成30年4月> 市場と企業の関係

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	講師	柴田 啓司 <平成30年4月> コンピュータの話 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	山根 拓 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	山田 真一 <平成30年4月> 中国語基礎 I 中国語基礎 II
兼任	教授	山崎 けい子 <平成30年4月> 日本語リテラシー II
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A 日本語/専門研究
兼任	教授	手崎 衆 <平成30年4月> 技術の世界
兼任	教授	酒井 富夫 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> アカデミック・デザイン
兼任	教授	小川 晃一 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化- 産業と経済を学ぶ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	山根 拓 <平成30年4月> 地域の経済と社会・文化
兼任	教授	山田 真一 <平成30年4月> 中国語基礎 I 中国語基礎 II
兼任	教授	山崎 けい子 <平成30年4月> 日本語リテラシー II 日本語/専門研究
兼任	教授	次山 淳 <平成31年4月> 日本の歴史と社会
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	秋月 有紀 <平成31年4月> 生活の科学
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼任	教授	小川 亮 <平成31年4月> 応用情報処理
兼任	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化-

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	坂本 麻実子 <平成30年4月> 音楽
兼任	教授	笹田 茂樹 <平成30年4月> 現代と教育
兼任	教授	山田 真一 <平成30年4月> 中国語基礎 I 中国語基礎 II
兼任	教授	山崎 けい子 <平成30年4月> 日本語リテラシー II 日本語/専門研究
兼任	教授	柴田 啓司 <平成30年4月> 情報処理-A
兼任	教授	手崎 衆 <平成30年4月> 技術と社会
兼任	教授	酒井 富夫 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ
兼任	教授	秋月 有紀 <平成31年4月> 生活の科学
兼任	教授	秋葉 悦子 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	教授	小助川 貞次 <平成30年4月> 言語と文化 アカデミック・デザイン
兼任	教授	小川 亮 <平成31年4月> 応用情報処理
兼任	教授	小野 直子 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	教授	小柳津 英知 <平成30年4月> 東アジア共同体論-政治・経済・文化- はじめての経済学

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	堀悦郎 <平成30年4月> 医療心理学 概説医療心理学 認知科学 脳科学入門
兼任	教授	名執基樹 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	木原 淳 <平成30年4月> 日本国憲法 市民生活と法 医療と地域社会
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福井 修 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	平澤 良男 <平成30年4月> 技術の世界
兼任	教授	米田 猛 <平成30年4月> 言語表現
兼任	教授	堀悦郎 <平成30年4月> 医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	堀江 秀夫 <平成30年4月> 生活の科学
兼任	教授	堀田 朋基 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	末岡 宏 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	名執基樹 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	講師	木原 淳 <平成30年4月> 日本国憲法
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月> 経済生活と法 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	福井 修 <平成30年4月> 市民生活と法
兼任	教授	堀悦郎 <平成30年4月> 医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	堀田 朋基 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	本間 哲志 <平成31年4月> はじめての経済学
兼任	教授	末岡 宏 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	名執基樹 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	木村 裕三 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理 科学と社会
兼任	教授	立石 孝夫 <平成30年4月> 経済生活と法 市民生活と法

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	堀悦郎 <平成30年4月> 医療心理学 概説医療心理学 脳科学入門 身近な医学
兼任	教授	堀田 朋基 <平成30年4月> 健康・スポーツ/講義 健康・スポーツ/実技
兼任	教授	末岡 宏 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼任	教授	名執基樹 <平成30年4月> ドイツ語基礎Ⅰ ドイツ語基礎Ⅱ ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習ドイツ語
兼任	教授	野崎 浩一 <平成30年4月> 環境と安全管理 科学と社会

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	龍 世祥 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ 環境 富山から考える震災・復興学
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	會澤 宣一 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅠ 日本語リテラシーⅡ
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地球と環境 地域デザインPBL
兼担	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	龍 世祥 <平成30年4月> 産業と経済を学ぶ 環境
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	林 直人 <平成31年4月> 化学物質の世界
兼担	教授	鈴木 基史 <平成31年4月> 経営資源のとらえ方
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 日本の歴史と社会 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	澤田 稔 <平成31年4月> 東洋の歴史と社会
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅢ
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	鈴木 景二 <平成30年4月> 万葉学
兼担	教授	鈴木 信昭 <平成30年4月> 人権と福祉
兼担	教授	和田 直也 <平成30年4月> 日本海学
兼担	教授	濱田 美和 <平成30年4月> 日本事情/芸術文化 日本語リテラシーⅢ 日本語/ビジネス
兼担	教授	齊藤 晴之 <平成30年4月> 美術
兼担	教授	齊藤 大紀 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
兼担	特命教授	船橋 伸一 <令和2年4月> 英語コミュニケーションⅡ-A
兼担	准教授	立石 良 <平成30年4月> 都市デザイン学総論 全学横断PBL 科学者・技術者倫理と知的財産
兼担	准教授	安江 健一 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	川崎 一雄 <平成30年4月> 地域デザインPBL
兼担	准教授	濱田 篤 <平成30年4月> 地域デザインPBL

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤本 孝子 <平成30年4月> 生活の科学
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ ロシア語コミュニケーションⅠ ロシア語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	島添 貴美子 <平成30年4月> 音楽
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	土田 努 <平成31年4月> 生命の世界
兼任	准教授	島田 亙 <平成31年4月> 地球と環境
兼任	准教授	藤川 勝也 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 化学物質の世界
兼任	准教授	柏木 健司 <平成31年4月> デザインと生物
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	准教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤井 雅文 <令和2年4月> 自然と情報の数理
兼任	准教授	藤本 孝子 <令和2年4月> 生活の科学
兼任	准教授	南 祐三 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会
兼任	准教授	入江 幸二 <平成30年4月> 西洋の歴史と社会 富山大学学
兼任	准教授	梅澤 礼 <平成30年4月> フランス語基礎Ⅰ フランス語基礎Ⅱ フランス語コミュニケーションⅠ フランス語コミュニケーションⅡ
兼任	准教授	萩原 英久 <平成30年4月> 科学と社会
兼任	准教授	萩野 紀一郎 <令和2年4月> 美術
兼任	准教授	柏木 健司 <平成31年4月> デザインと生物
兼任	准教授	八百 章嘉 <平成30年4月> 国家と市民
兼任	教授	武田 昭文 <平成30年4月> ロシア語基礎Ⅰ ロシア語基礎Ⅱ
兼任	准教授	福田 翔 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ 発展多言語演習中国語

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	井戸 啓介 <平成30年4月> 認知科学	兼任	講師	井戸 啓介 <平成30年4月> 認知科学	兼任	講師	井戸 啓介 <平成30年4月> 認知科学
			兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	井上 明浩 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	碓井 道子 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅡ-A	兼任	講師	碓井 道子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅡ-A			
			兼任	講師	越谷 美和子 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A	兼任	講師	越谷 美和子 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A	兼任	講師	越谷 美和子 <平成30年4月> 英語コミュニケーションⅡ-A
			兼任	講師	奥野 美友紀 <平成30年4月> 日本文学	兼任	講師	奥野 美友紀 <平成30年4月> 日本文学	兼任	講師	奥野 美友紀 <平成30年4月> 日本文学
			兼任	講師	応 広建 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	応 広建 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ			
			兼任	講師	岡本 啓 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	岡本 啓 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	岡本 啓 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	海見 珠季 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A	兼任	講師	海見 珠季 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A	兼任	講師	海見 珠季 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A
			兼任	講師	郭 明輝 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	郭 明輝 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	郭 明輝 <平成30年4月> 中国語コミュニケーションⅠ 中国語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	関 泉子 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ	兼任	講師	関 泉子 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ	兼任	講師	関 泉子 <平成30年4月> 中国語基礎Ⅰ 中国語基礎Ⅱ
			兼任	講師	丸井 一誠 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	丸井 一誠 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	丸井 一誠 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	岸本 明子 <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	岸本 明子 <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ	兼任	講師	岸本 明子 <平成30年4月> ドイツ語コミュニケーションⅠ ドイツ語コミュニケーションⅡ
			兼任	講師	呉羽 長 <平成30年4月> 日本文学	兼任	講師	呉羽 長 <平成30年4月> 日本文学	兼任	講師	呉羽 長 <平成30年4月> 日本文学
			兼任	講師	高松 直子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅠ-A 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅡ-A	兼任	講師	高松 直子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A	兼任	講師	高松 直子 <平成30年4月> 英語リテラシーⅡ-A 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A
						兼任	講師	高野 美帆 <平成31年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A	兼任	講師	高野 美帆 <平成31年4月> 英語コミュニケーションⅠ-A 英語コミュニケーションⅡ-A

専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・ 兼任・ 兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	名執 純子 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II
						兼任	講師	名取 雅航 <平成31年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A	兼任	講師	名取 雅航 <平成31年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A
			兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	楊 峰 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II
						兼任	講師	要門 美規 <平成31年10月> 日本語コミュニケーション III			
			兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技	兼任	講師	櫻井 貴志 <平成30年4月> 健康・スポーツ/実技
			兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II	兼任	講師	艾 玉霞 <平成30年4月> 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II
			兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語コミュニケーション I ドイツ語コミュニケーション II	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II	兼任	講師	高橋 麻帆 <平成30年4月> ドイツ語基礎 I ドイツ語基礎 II
			兼任	講師	高島 彬 <平成30年4月> 英語コミュニケーション I-A 英語コミュニケーション II-A						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- 教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増
 - ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」
 - ・秋葉 悦子／八百 章嘉／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」
 - ・根岸 秀行／山根 拓「地域の経済と社会・文化」
 - ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
- 教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更
 - ・上記以外の教養教育科目における変更

【令和元年度】

- 教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増
 - ・徳永 洋介／澤田 稔「東洋の歴史と社会」
 - ・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／松本 和彦「国家と市民」
 - ・鈴木 晃志郎／山根 拓「地域の経済と社会・文化」
 - ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
- 教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更
 - ・上記以外の教養教育科目における変更
- 専任教員の担当授業科目の追加（平成30年7月教員審査済）
 - ・會田 哲夫「工学概論／機械」
- 専任教員の新規採用（平成30年7月教員審査済）
 - ・土屋 大樹「技術と社会」、「入門ゼミナール」、「工学基礎実験」、「材料デザイン工学実験A」、「材料デザイン工学演習A」、「卒業論文」、「材料デザイン工学輪読」
- 平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増
 - ・大路貴久、中茂樹「工学概論／電気電子」
 - ・長谷川英之、高松衛、参沢匡将、田端俊英、稲積泰宏「工学概論／情報」
 - ・木田勝之、小熊規泰、川口清司、木村弘之、神代充、笹木亮、瀬田剛、會田哲夫「工学概論／機械」
 - ・黒澤信幸、伊野部智由、中路正、宮崎章、堀野良和、米山嘉治、岩永進太郎、劉貴慶「工学概論／化学・生物」
 - ・本田豊、木村一郎、中川大、久保田善明、堀田裕弘、金山洋一、堀祐治、原隆史「工学概論／土木・建築」

【令和2年度】

- 教養教育科目の全学的見直しに拠る担当科目及び担当教員の増
 - ・徳永 洋介「東洋の歴史と社会」
 - ・秋葉 悦子／青木 一益／辻本 淳史／八百 章嘉「国家と市民」
 - ・鈴木 晃志郎／大西 宏治「地域の経済と社会・文化」
 - ・橋本 勝 「新聞投稿に挑戦」
- 教養教育科目のカリキュラム編成調整による担当教員の変更
 - ・上記以外の教養教育科目における変更
- 教養教育科目における担当教員職位変更
 - ・伊藤 智樹：准教授→教授
 - ・武田 昭文：准教授→教授
- 専任教員の担当授業科目の追加（平成30年7月教員審査済）
 - ・會田 哲夫「工学概論／機械」
- 専攻科目におけ担当教員の変更
 - ・専任教員の新規採用（平成30年7月教員審査済）
 - 土屋 大樹「技術と社会」「入門ゼミナール」「工学基礎実験」「材料デザイン工学実験A」「材料デザイン工学演習A」「卒業論文」「材料デザイン工学輪読」
 - ・上記以外の専攻科目における担当教員の変更
- 平成31年度教職再課程認定への対応のための担当科目及び担当教員の増
 - ・大路貴久、中茂樹「工学概論／電気電子」
 - ・長谷川英之、高松衛、参沢匡将、田端俊英、「工学概論／情報」
 - ・木田勝之、小熊規泰、川口清司、木村弘之、神代充、笹木亮、瀬田剛、會田哲夫「工学概論／機械」
 - ・黒澤信幸、伊野部智由、中路正、宮崎章、堀野良和、米山嘉治、岩永進太郎、劉貴慶「工学概論／化学・生物」
 - ・本田豊、木村一郎、中川大、久保田善明、堀田裕弘、金山洋一、堀祐治、原隆史「工学概論／土木・建築」

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8 名	4 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	5	0	1	15		10	4	0	2	16	0
(10)	(4)	(0)	(1)	(15)	()						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	4	0	2	16	0	10	4	0	2	16	0
[1]	[Δ 1]	[0]	[1]	[1]	[0]	[1]	[Δ 1]	[0]	[1]	[1]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{15} = \boxed{106.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		(該当なし)								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		(該当なし)								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		(該当なし)								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

(該当なし)

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<都市デザイン学部 材料デザイン工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
○学位の英語名称 学士（工学） 「Bachelor of Materials Engineering」	学内において授与する学位名称の整合性を図るため、 学位の英語名称を以下のとおり変更する。 学士（工学） 「Bachelor of Engineering」

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・富山大学都市デザイン学部教授会を設置
- ・富山大学都市デザイン学部運営委員会
- ・富山大学都市デザイン学部FD委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

- ・富山大学都市デザイン学部教授会
 定例：毎月第3水曜日に開催（4/20-22開催（メール会議） 構成員49人中49人出席）
- ・富山大学都市デザイン学部運営委員会
 定例：教授会開催日前週の月曜日に開催（4/13開催 構成員9人中9人出席）
 臨時：随時（4/28-5/1開催（メール会議） 構成員9人中9人出席）

- ・富山大学都市デザイン学部FD委員会

随時開催

c 委員会の審議事項等

- ・富山大学都市デザイン学部教授会
 都市デザイン学部の組織及び運営に関する必要な事項
- ・富山大学都市デザイン学部運営委員会
 都市デザイン学部の教育研究及び運営に関する必要な事項
- ・富山大学都市デザイン学部FD委員会
 教育内容及び教育方法の改善に関する事項
 教育に関する研修会及び講演会の開催に関する事項

② 実施状況

- a 実施内容
 - ・入試内容の評価・検討
 - ・学生授業アンケートの実施・分析
 - ・教育研究指導体制の検討
 - ・FD研修会及び講演会の開催

 - b 実施方法
 - ・学部教授会及び学部運営委員会において実施概要について議論を行う。
 - ・学部FD委員会で実施概要の詳細を検討する。

 - c 開催状況（教員の参加状況含む）
 - ・令和元年度は2回のFDを開催し、学部教員は延べ82人が参加した。

 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・今後、学部教授会、学部運営委員会及びFD委員会で検討する予定。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
 - ・年4回実施（実施時期：6月、8月、11月及び2月、1～4タームの各授業終了期）

 - b 教員や学生への公開状況，方法等
 - ・教員には担当授業に係る集計を情報提供
 - ・アンケート集計結果については、本学ウェブサイトにおいて、学生を始め、学外に対し公表することとしている

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和2年度は、A0入試1名（志願者2名）、特別入試5名（同5名）、私費外国人留学生入試2名（同2名）、一般入試前期日程43名（同299名）及び後期日程14名（同227名）と定員より5名多い計65名が入学した。また、3年次編入学試験を実施した結果、1名（志願者1名）が編入学した。一方、退学者3名と転学部（転出）3名あり在学者数は187名となった。

施設整備においては、新たに実験実習棟が完成し、講義や実験実習はもちろん、学生の自主的な研究や教員の研究に幅広く活用されている。教育・研究環境の整備は計画通りに進行している。

また、「全学横断PBL」の全学展開のためのシンポジウム開催、PBLをサポートする協議会による「まちなかサテライトキャンパス」の実施を通して、大学と地域が連携する教育プログラムの基礎をつくってきた。概ね満足のいく目的達成状況であるといえる。

今後は、更なる教育・研究水準の向上を図り、設置の趣旨・目的の実現に向け引き続き取り組んでいく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・未定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

・令和5年度以降に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。